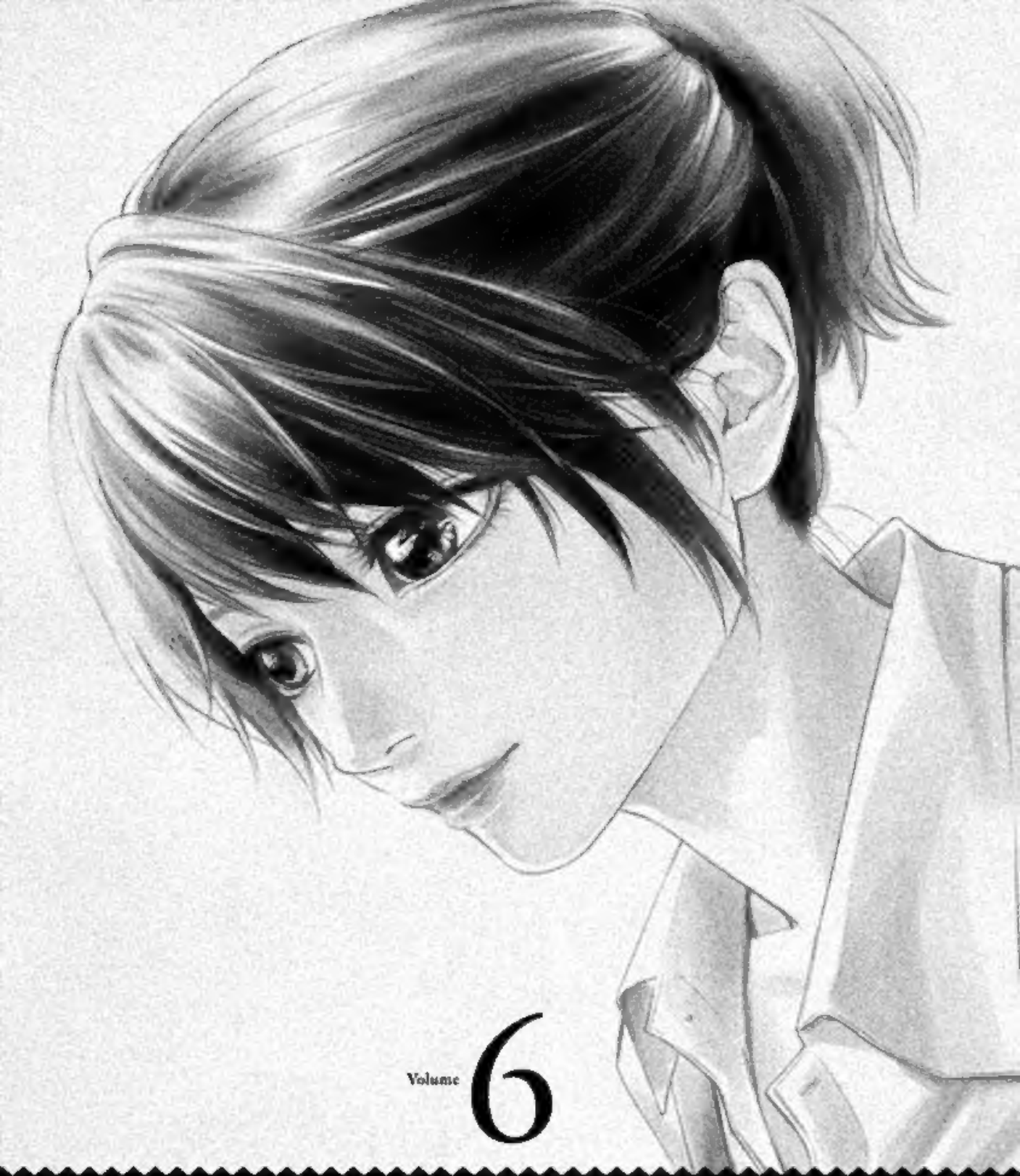
HARE-KON
Volume 6
Presented by
NON
原作 Tezuka DAI



Volume 6

ハレ婚。

Presented by
NON

構成
Tezuka DAI

前巻までのあらすじ

Volume.5

ハレ婚生活2週間で家出した第3夫人・小春。そんな彼女をよそに伊達家では、うぶな女子高生・うららを誘って、ゆずの誕生パーティーが開かれていた‥‥！

一方、自分がいなくても楽しそうな龍之介にイラつく小春。夜のバッティングセンターで、学生時代に告白した武田と再会する。既婚者であることを隠して下心丸出しな武田に、小春のガードも甘く、なんだかアヤシイ雰囲気になっちゃった‥‥!?

龍之介と会わない時間が小春の心に変化をもたらしたのか、うららのお陰か武田のせいか。ついに小春は認めて、龍之介に告白した。

「アンタのことが好きみたい」

小春にはわかっていた。この男を好きだと認めることが何を意味するのか。わかっていて小春は伊達家の第3夫人に戻ることを決意した。龍之介はもちろん、他の嫁2人もそんな小春を温かく（？）迎え入れ、みんな揃ったところで舞台は新婚旅行へ――！

『ハレ婚』とは!?

「ハーレム結婚」の略称で、一夫多妻で結婚すること。北つばめ市長が命名。

Volume 6

CONTENTS

48	抜け駆け女	003
49	ターコイズの男女	021
50	離さない女	039
51	アフターフォローの女	059
52	信じる女	077
53	ちょっとずつの男と女	095
54	マハロな女	113
55	押し入れ男	133
56	伊達龍之介という男	151
57	思うツボの女	171

龍(りゅう)

…って
泳げる…
!?

48
抜け駆け女

ぶはっ
いいムードだったのに——

フツーに危ない!!
あたしが泳げなかったらどーすんだ
泳げるでしょ
フッ…まあ
茨城のマーメイドとはあたしのことですけど?
ジュゴンの間違いだろ

ジュゴンよりは
かわいーっつーの!!
なにいきなり
2人でイチャつい
てんのよー
ジュゴンの
方が
かわいい
……
新妻(にいづま)といえど
抜(ぬ)け駆(が)け
厳禁だっぺ!!
!?

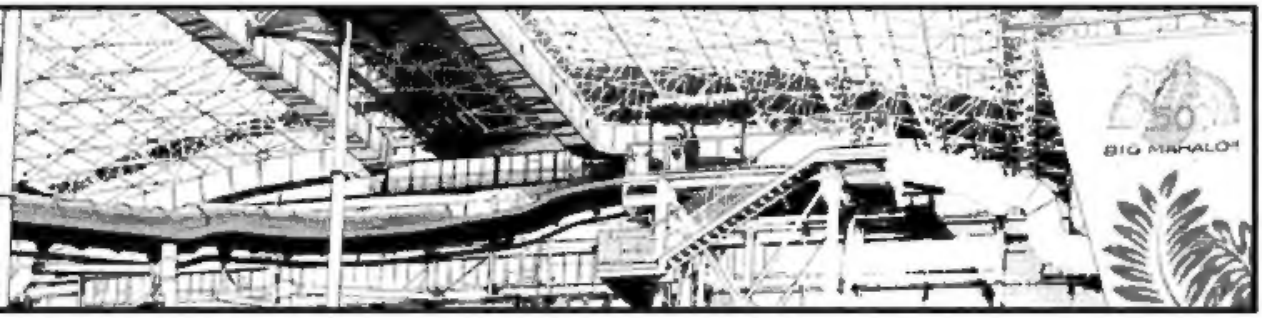
そっ…
そんな
つもりじゃ…

だいたい
コイツが…!!
見つかっ
ちゃった
そーね…
みんなで来てるん
だから みんなで
楽しまないと…

すりっ
マンツーマンで遊ぶならぁ
正しい順番があるでしょ♡

……

ウォータースライダーやりましょ♡
ウフフ
いいねぇ


50
BIG MAHALO!

あーあ…
甘かったな
みんなで
和気あいあい
なんてさー
そりゃ旦那は
一人なんだもん
嫁同士
取り合い
よね！…
あたしも
ハレ婚してく
なら
戦わなきゃ
いけないの
かな
〝女〟を武器に
……？

えーー
ヤダーーー!!
……

あたし
駆け引きとか
大ッ嫌いだし
そもそも
女同士争う
なんてさー
あいつが鵜子
乗るだけ
じゃん!!?
ねぇ!?
何の話

……
……
なんだっけ…?

…一緒に乗る？
嫌

いいじゃん!!
余り者同士楽しくやろーよ
ねー
ねー
乗りたければ一人で乗れば
余計さみしーわ

…こんな事で寂しがってたら
…大多数なんて無理よ

なぜ…

…まどかは何でヘーキなの？
慣れたから
バーブラック
口

たしかにゆずは
初めて会った時からず——っとあんな感じだな…

2人は
どうやって龍と結婚したんだ？
いつからハレ婚してるんだろ…

…あたしだけ
何も知らないんだ

大人一枚!!
ダッ
あいつと他の女が
どうくっついたか
なんて
知りたくも
ないっつーの

あたしはあたしで
このハネムーンを
全力で楽しむ
のみ――!!
たとえ
一人でも…!
ボシ●
ライオン
ズン
ズン
きゃ――
ハニャアアン

結構激しいのね――
ぬれちゃったぁ～
でも楽し――♡
あら？
暗くて狭かった……
そーいえば苦手だっけよしかし
お昼にしませんか？
ゆっくりできそうなお店が…
ザーン
あはは
ははは

うっとーしいから後で遊んであげたら？

寂しいみたいですよ

え？楽しそうじゃん

ケラ

ケラ

ケラ

見て――

かわいいでしょ

ヤシの実ジュース

いや…どうだろ

そのまんまね～～…

飲む？
はい
！
えっ…

や…
ヤダよー
恥ずい…
ココナツとは
違うんですか？

同じだよ
中の果肉を
使って作るのが
ココナツミルク
へぇ～～～
博識ですね
コレは果汁を
そのまま飲むの
飲む？
一口だけ

ちゅ

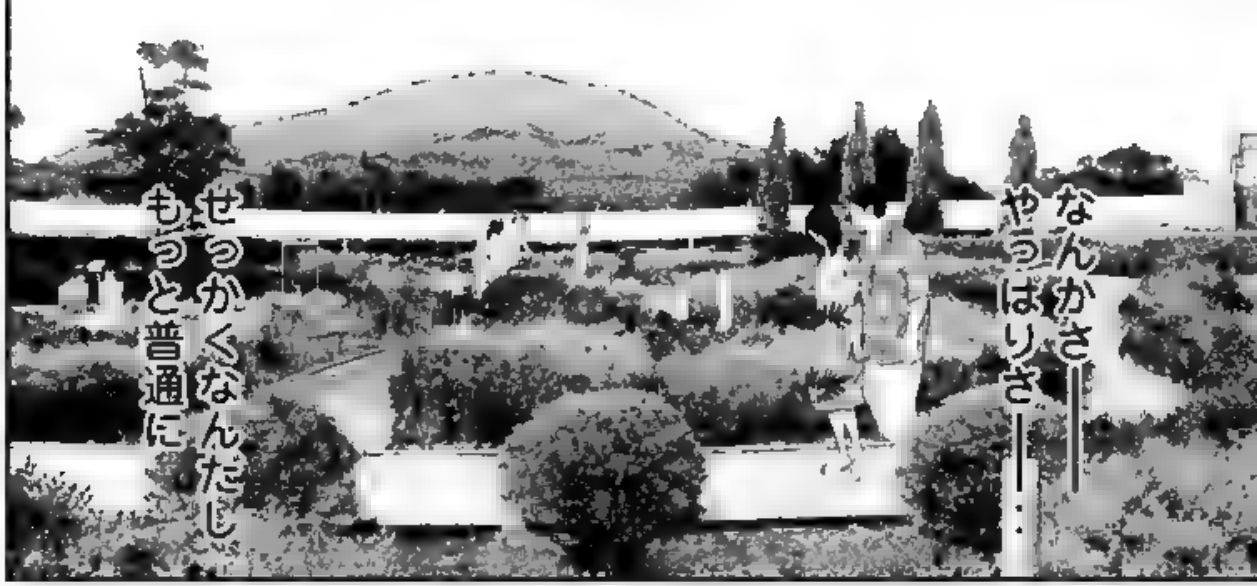
やりたくないけど
人がやってんのスゲー――腹立つ!!!

…甘くない
変わった味ですね…
ニャーニャー
恥ずかしがってちゃ思い出は作れないわよ――?
くそお～～～
PARADISE SAUNA

温泉にスパもついてるなんて
贅沢だね——
プールも全部温泉なのよ
さすがいわきね…

遊べば遊ぶほど美肌になっちゃうんだから～～～♡
うん
ハーレム作る
いっぱい
天国だなぁ

夜のショーも予約しましょ！
スゴイのよ
映画になったやつ？
そーそー！
めっちゃ見られてる

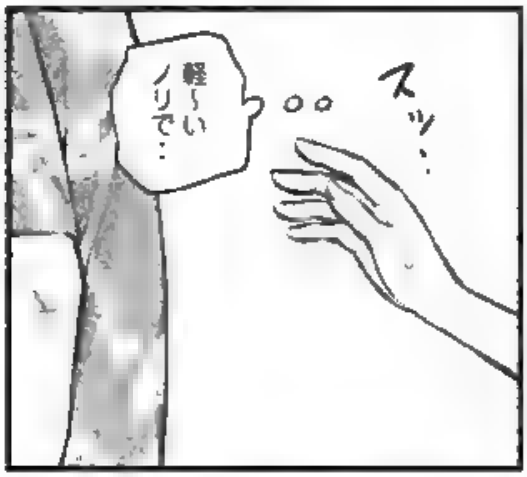

なんかさ――
やっぱりさ――…
せっかくなんだし
もっと普通に

2人で
遊びたい

ドボ
ドボ
ドボ
……
2人きりに…
なる為には
自ら動くしかない…!!
カッ
ドボ
ドボ
ドボ

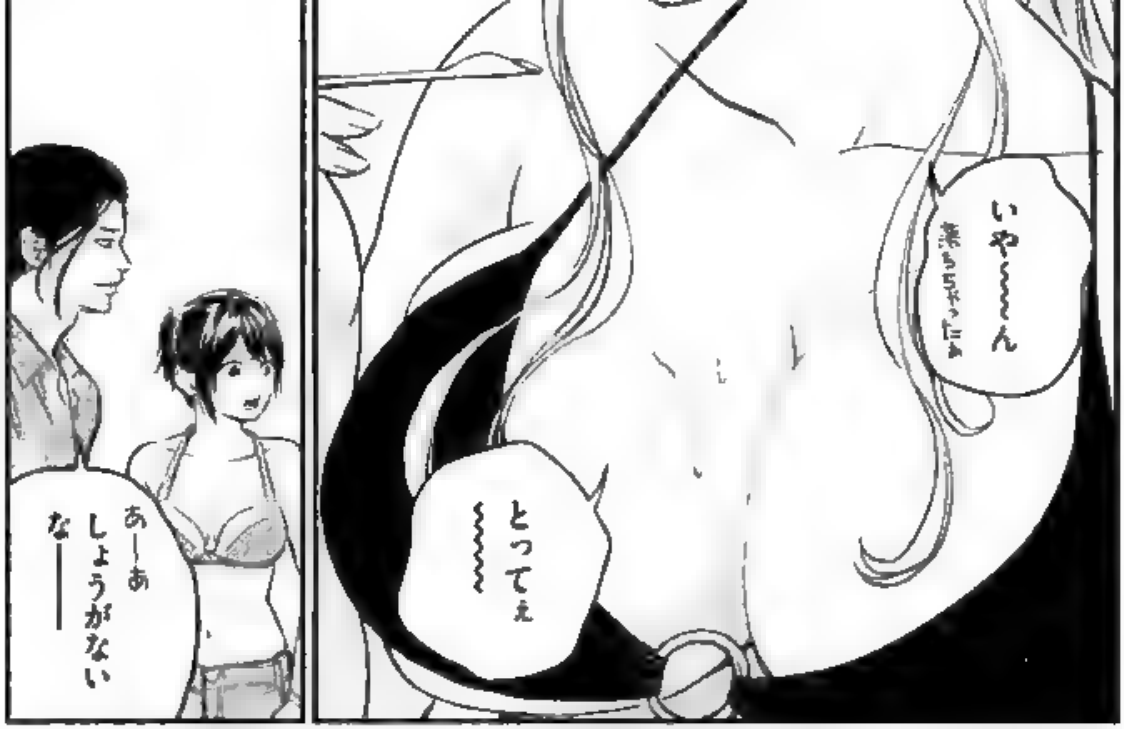
49

ターコイズの男女


スッ…
軽〜いノリで…

自然に…
いつも通りに

あんっ
びくっ


いや〜〜〜ん
とってぇ〜〜〜〜
あーあ
しょうがない
な——

そ
あッ…
ぴくっ…
ん
やん…っ
そこじゃ
な〜い
もう…

……!?
ちょっと!
やめ
なさいよ!

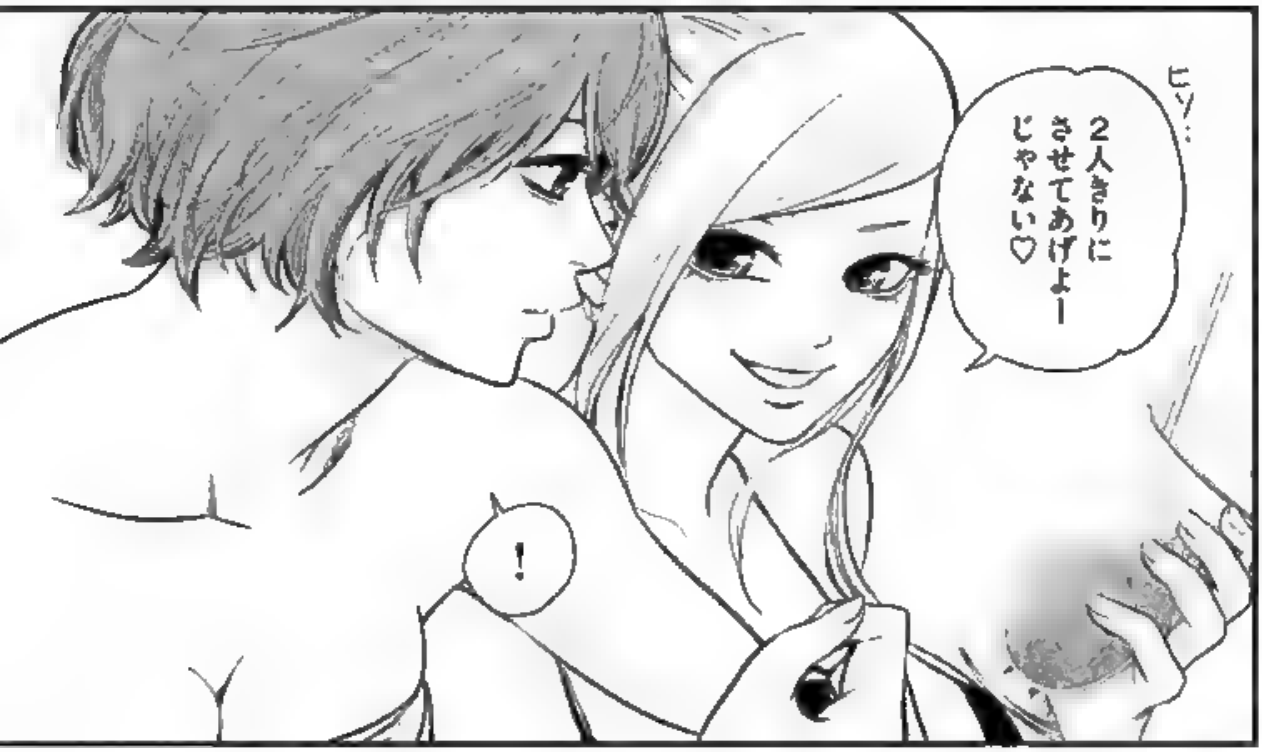
な〜に
あたしィ？
今のは完全に
あなたが誘ったわ
恥ずかしく
ないの？
いい歳
して
…へぇ

マグロのくせに
生意気じゃ
な〜〜い？
あなたの痴女ぶりには
迷惑してるのよ

…止めなくて
いーの？
…ゆず
まどか

愛してるよ
ピッ
ピッ
はぁ!?
……
効いてんのかよ……
なんだコイツらほんと・ナリ
小春ちゃんもね♡
ちっ
嬉しくねーよ!!

あー
汗かい
ちゃった！
お風呂
行きましょ
なんで
私まで
いーじゃない
ビール奢って
あげるから♡


ヒソ…
2人きりに
させてあげよー
じゃない♡
！

じゃっ
ディナーで♡
ごゆっくり

あれ…？ 急に!?
2人きり……！
小春ちゃんはいーの？
お風呂

お…お店見てこよっかな――！
……

：一緒に
行かない？

そう…！
コレよコレ！
こーゆうのが
したかったの!!

こ…恋人っぽい……！
夫婦だけど……
どお…？（エヘ）

バカっぽい
ヘアゴム欲しいの？
ターコイズなんて
いかがでしょう

小春ちゃんらしくて素敵ですよ

独断かよ
でも思ってくれんのか…
はい

それなら僕も使えるし
コレ2個
え!?

お揃い

…ありがと
ん

雛ちゃん
……
絶対
変よね～

いつもならぁ
自分から色々
誘ってくるのに
今日はやけに
受け身だと
思わない～？

待ってるって
カンジ？
新妻さんが
素直になるのを
～～～～
フフフ
……

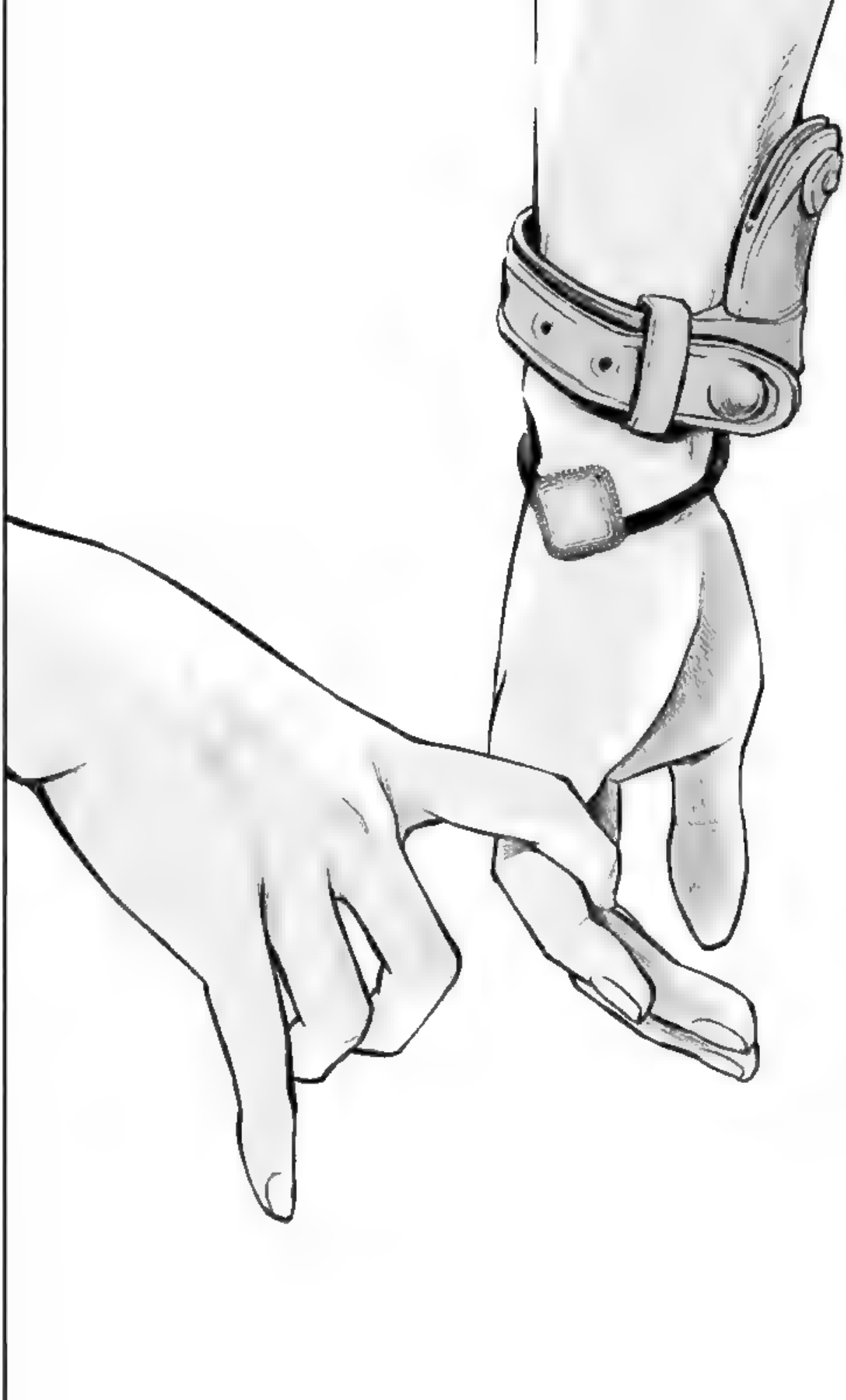
：それが
面白くなくて
最骨に邪魔してる
わけ？
ヤダ
心外だわ～～～
ちょっと
イジめたく
なっちゃっただけ
だも～～～ん
瞳ちゃんも
わかってる
から
嫌な顔ひとつ
しないわよ

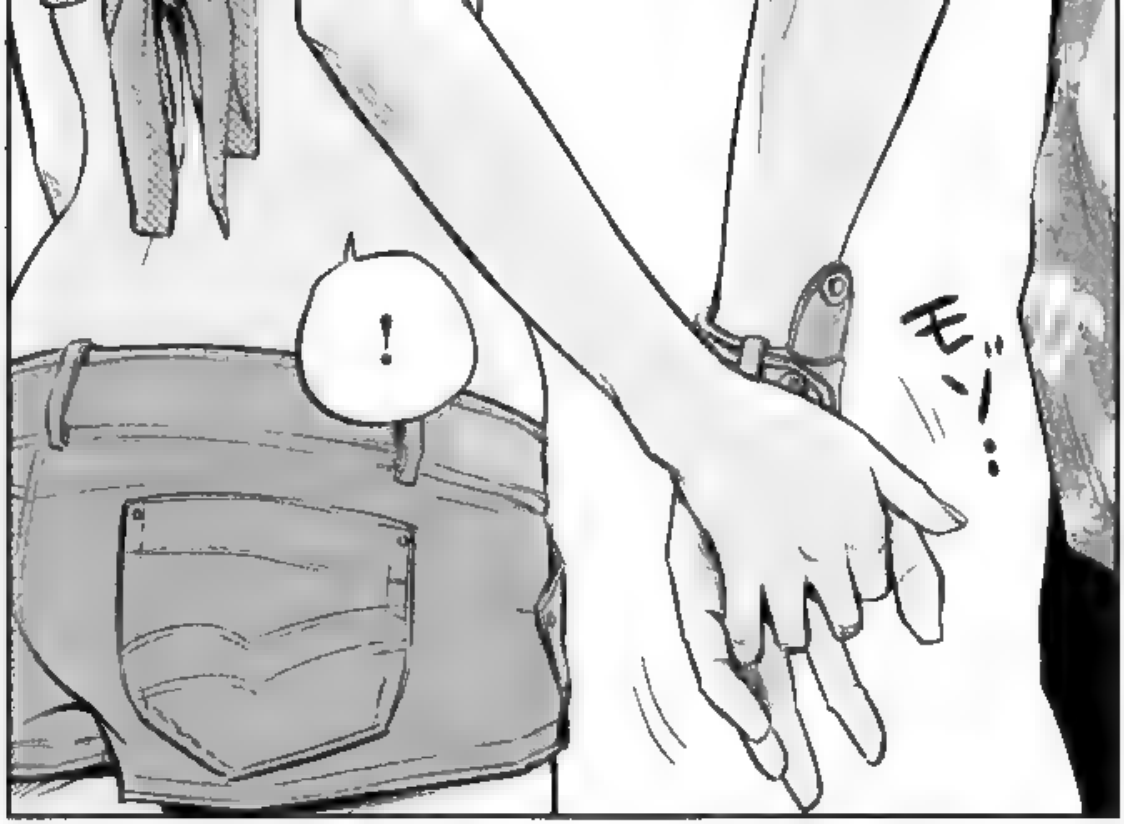
アンタも我慢してないでぇ
思いっきり甘えてみたらぁ〜〜〜〜？

ほんのちょっとした事でムカついたり嬉しくなったり
あたしほんとに

この男に
恋しちゃってんだな……

ん――!!
一番手前
……かな




！
ドン！！

わっわっ
わあああ——っ
わっ

おおお——!!?
ぎゅっ

いつもいつも…
ドキ
ドキ
ドキ
急に距離を
詰め過ぎなんだよ
おまえはっ…!
…

50

離さない女

休憩しようか
？

じー
……
……っ
ドキ
ドキ
休憩…？
ドキ

なんかされそう……
マッサージしてあげるよ～とか言って……

いやまさかこんな所で…ないか？
じー
でもコイツ場所とか関係なさそうだし――…
…てゆーか
あたし
コイツのこと好き…なんだよね…？

じゃあ
いいんじゃない…？

いいって…
何が…!?
だって
だって
2人きりなの
今だけだし…
え…?
ん～～～～と
……な…なんで?

よし
行こう!
へ…
あっ
え!?
えっ!?

わーい
量だ
ズザー

は――
疲れた
なんだ…
本当に休み
たかったのか
ちょっと
ホッとした…

枕が欲しい

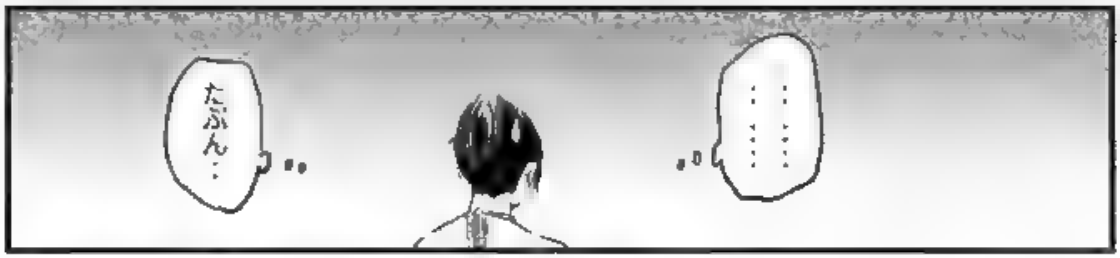
…こっち
来てよ
えっ!?
ドキッ

うん
いい
……

触んないでよ…
ん――…

いつも勝手で

自己中で
変態で
意味わかんないけど
本当は・・
一番に考えて
くれてるんでしょ


・・・・・・
・・・・・・
たぶん・・

なんとなく
わかってきたよ

Hawaians

ガヤ
ガヤ
ガヤ

うわっ
酔ってる
おっそ～～～
いい～～～～っ
小春ちゃんが
離してくれ
なくてさー
爆睡
してたろ

おかず…
とってきますね…
まどかー
ごはんはアッチよ！
ダメだろアレ…
早く食べて
シローが始まっちゃう
ゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴ
わ――――!!
すごーい
よく見える!!
パチ
パチパチ
あんたちゃんと座りなさいよ
派手だね――
わ――――っ

来て良かった……

ありがと
連れて来てくれて

…よかった

ちょっとー
どこ行くのよ
――
トイレ
あっそー
アーン
……

どこへ
行くんですか…？

婚

トイレ…
いや
ホントに

どこへ
行くんですか…？
小春ちゃんの
とこ

わお
全然物怖じしないのね——
さすがチング
龍之介さんは私たちを平等に扱う義務があります
特別扱いは
…行っても何も出来ません

ルール違反です

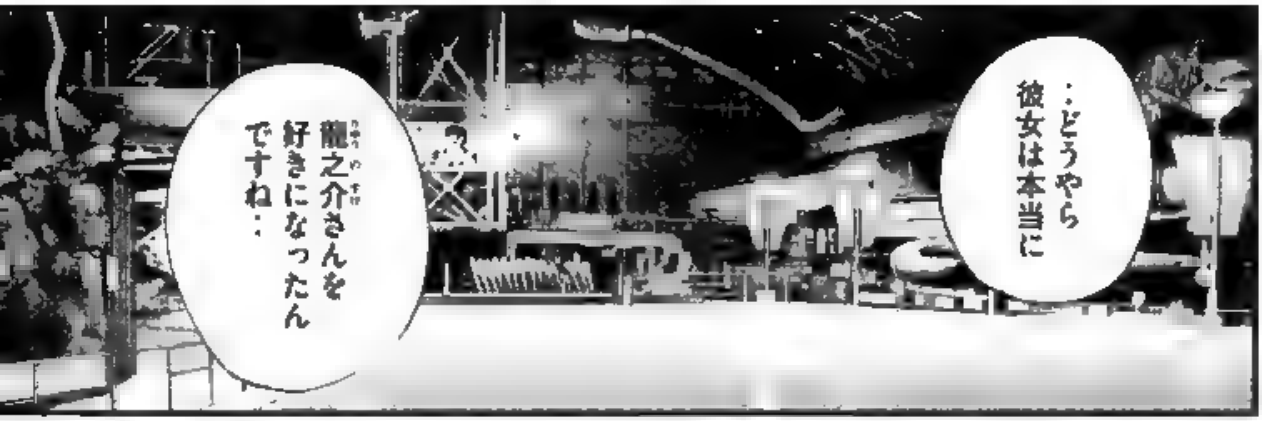
51

アフターフォローの女

特別じゃないさ…
まどかやゆずでも僕は行く

…でも
たしかに何も出来ないね
！

良い判断じゃない…
冷静じゃなかった


…どうやら彼女は本当に
龍之介さんを好きになったんですね…

これから嫉妬や独占欲と折り合いをつけていかなくちゃならない

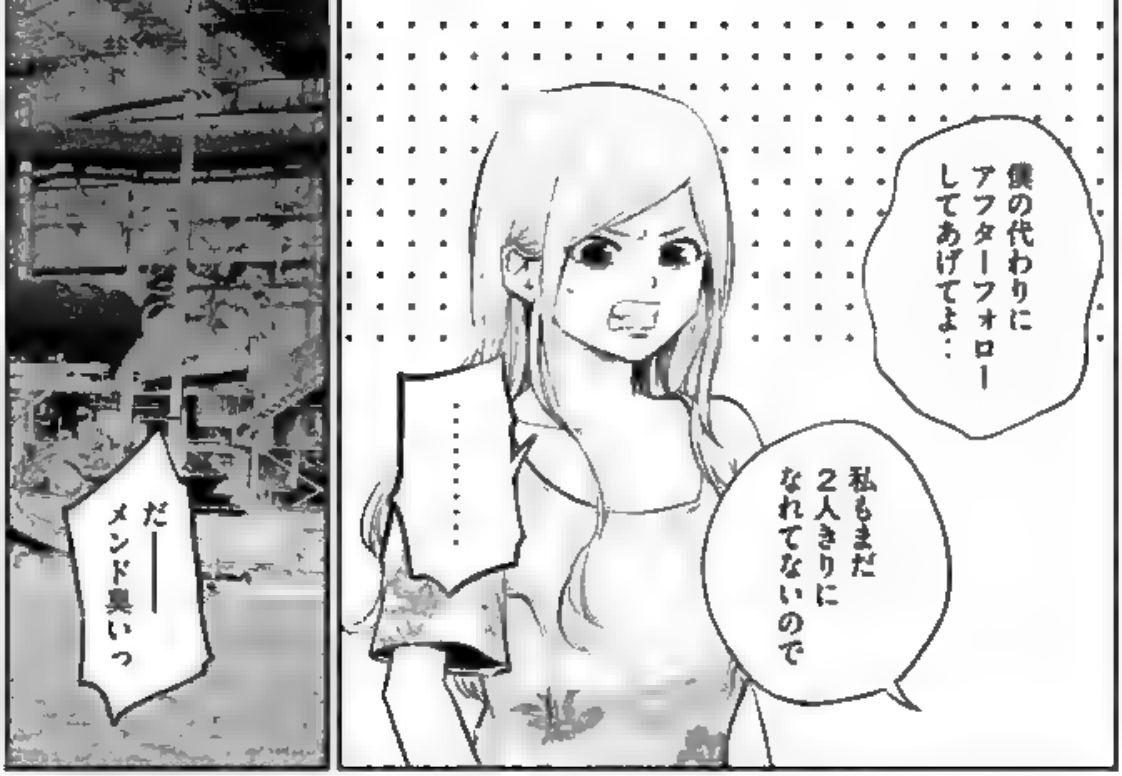
今が
辛い時です
……

アンタも
わかってて
よくやるわね
〜〜
まー あたしも
やったけどね
——

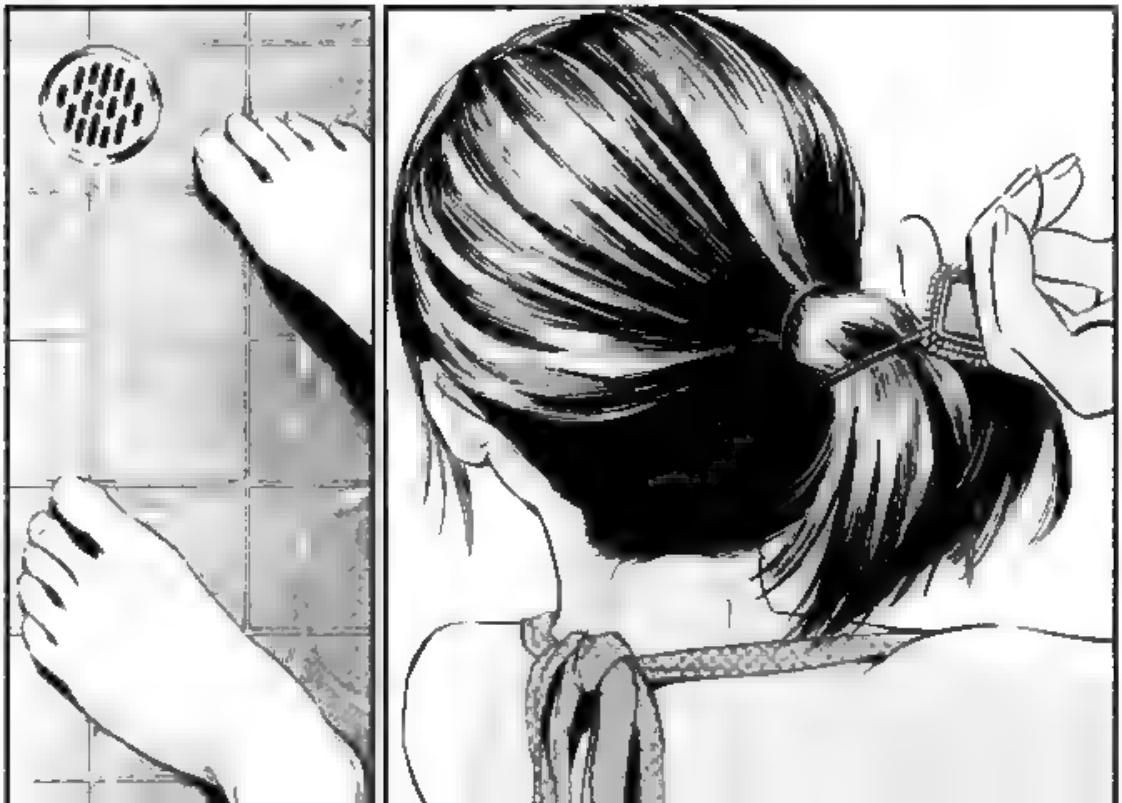
…これが
日常だもの
遠慮は
しないわ
そうねぇ
〜〜〜
小春にも早く
慣れてもらわないと
困るわ…でも

あたしたちと違って
要領よくないわよ
あいつ
そーなんだよなぁ――――…
ため息
んー やっぱり
放っとくのは
よくないな…
かと言って
僕の顔は見たくも
ないだろうし……
イラッ

あたしィ～～～～～～!!?
頼むよゆず～
適任だわ
ええ
ええ
ええ
うるせーな前…


僕の代わりに
アフターフォロー
してあげてよ…
私もまだ
2人きりに
なれてないので
……
だ――
メンド臭いっ

女子ロッカー室



バカだなぁ。
ひとりで舞い上がって。
一番だなんて
特別だなんて・・
そんなワケないのに

ガコンッ
アンタのせいよ！
最後までシーが見れなかったんだからね！

放っといてくれていいのに
だったらハッキリそう言えっつの！

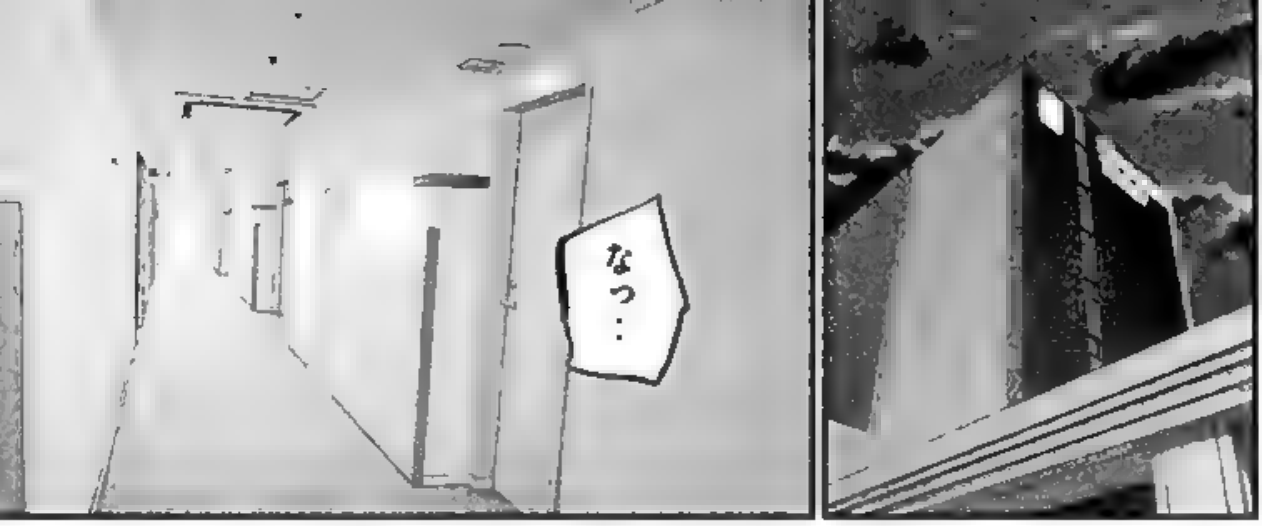
トイレ
なんて見えッ見えのウソついてさ
構ってオーラ出まくりだっぺ
あ――ムカつく
本ッ当に面倒臭い女！

……
だって…

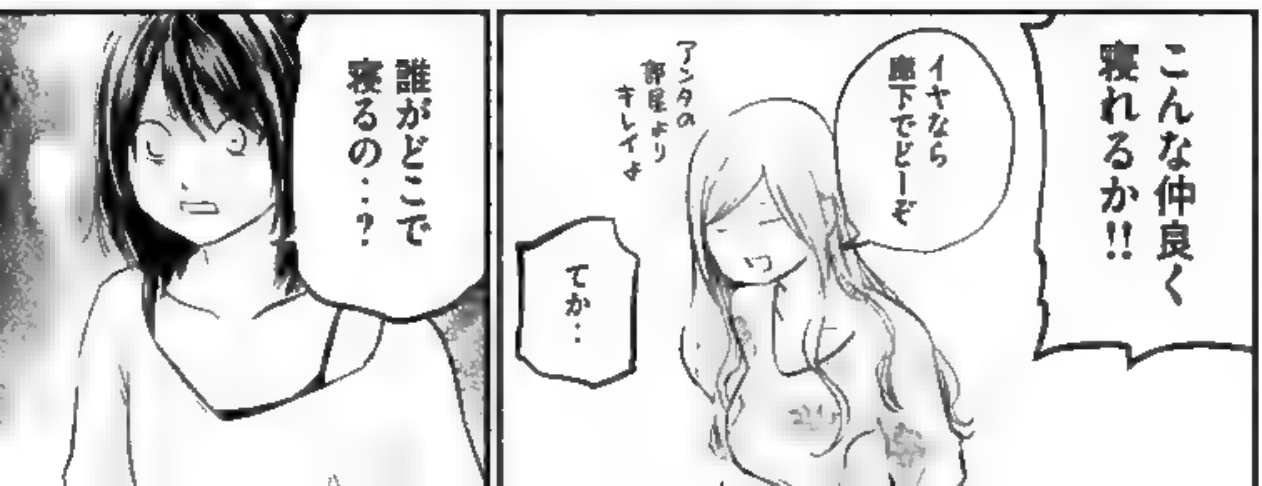
トイレには
行ったもん
～～～…
ろ、ろ、
……

わかってる
わよぉ…

飲むわよ！


なっ…

何コレ!!!
川の字!!?
違うわよ
4枚だもん


こんな仲良く
寝れるか!!
イヤなら
廊下でどーぞ
アンタの
部屋より
キレイよ
てか…
誰がどこで
寝るの…?

麻ちゃんの
となりは
ゆずらない
わよ？
狙って
ねーよ!!
あたし
ココにする!!
ゆずは
そこで寝て!!
甘えん坊
ね～～～…

甘えん坊の新妻と
甘えん坊の旦那様に
かんば
～～い♡
……

舞い上がってるのはぁ～～～
瞳ちゃんも一緒よ
ウソだ…
マジよ！
長い付き合いだもんわかるわよ
――――

そのヘアゴムが何よりの証ね
～～～～～～
……

あたしやまどかにはそんなことしないわ
愛さないケドね――
平等とか言ってる！！
まどかにはそれが裏に隠ったのかもねぇ

ゆずは平気なの…？
全然～？
でも最初は抵抗あったんじゃないの…？
どーやって慣れたの!?

あ～～～そーゆう事聞きたいならあたしよりまどかの方が適任だったかもね～

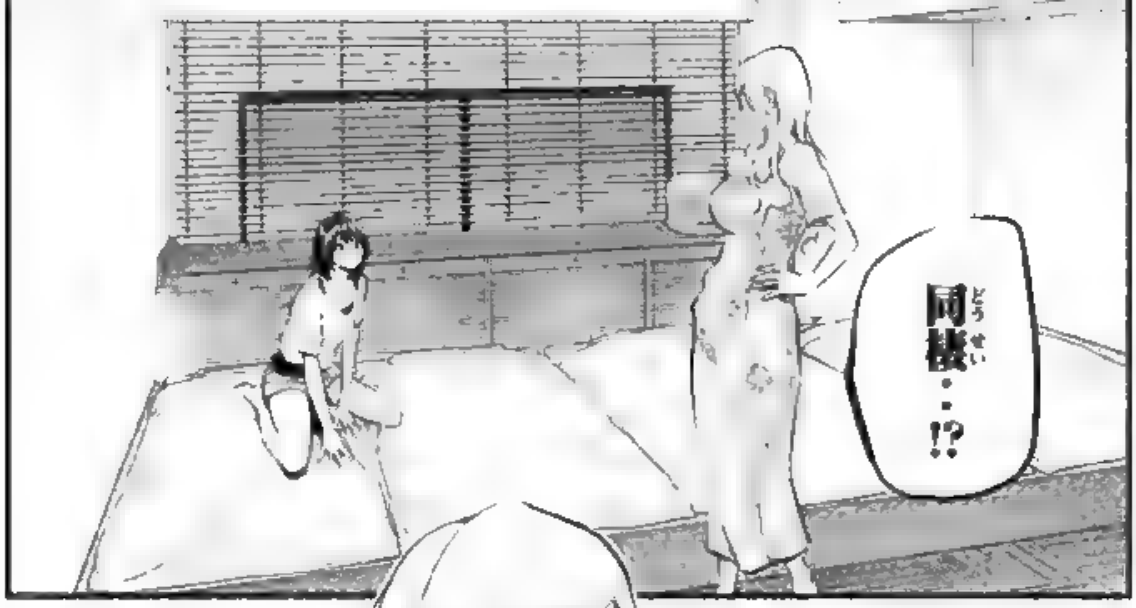
なんで!?
ゆずは付き合い長いんでしょ?
まどかが来た時どうだったのか教えてよ…!

ちがうわよお!

まどかが先

あの2人
同棲してたのよ

52
信じる女


同棲・・!?

龍ちゃんが
東京から茨城に
来た時に
まどかも
くっついて来たの
そーよ。

あたしが出逢った時
2人はもう
一緒だったわけ
・・・・・・・
だから――
どーやって
姉妹と
向き合うかは
まどかの方が
詳しいんじゃ
ない？

…龍とまどかが
同棲してた……!?
…ゆずはそれを横取りして
結婚したの……？
するか!!

あの頃は色々あったの！
龍ちゃんはまどかと上手くいかないことで参ってたし
あたしは時々2人の様子を見てただけ！
朱ねしちゃうわ

参ってた〜〜〜〜？
はぁ？
あの男がぁ〜〜〜〜？
アンタ龍ちゃんのことただのお調子者だと思ってるでしょ
あとすげー変態ね

……

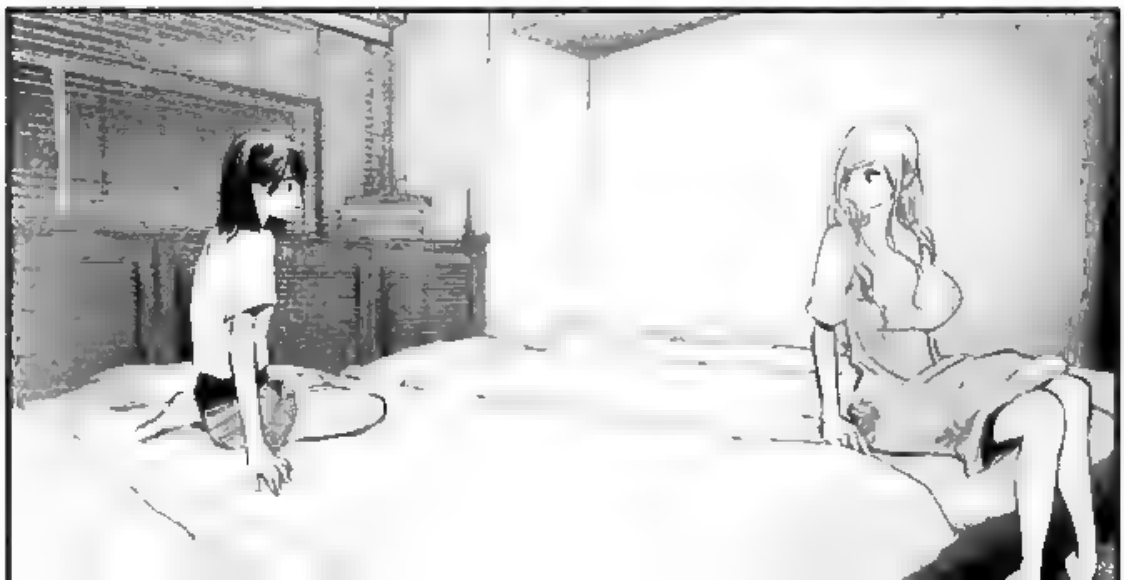
本気でそう思ってんだったら
マジでムカつく

や…
本気ってか…
……

だって…
あたし
わかんないのよ
アイツとどう
接していいか
なに考えてんのか
読めないし……
まぁ…それは
いつもそうだけど
なんか
……

不安になるの
信じたいけどさ……
むずかしくて

龍(リュウ)ちゃんほど誠実な人はいないわよ！



誠実
……!?

そうよ！
優しくて
頭良くて
気が利いてて
シャイで
お茶目で
セックスも
上手で
絶対ウソ
つかないし！
サイコー
じゃんか！

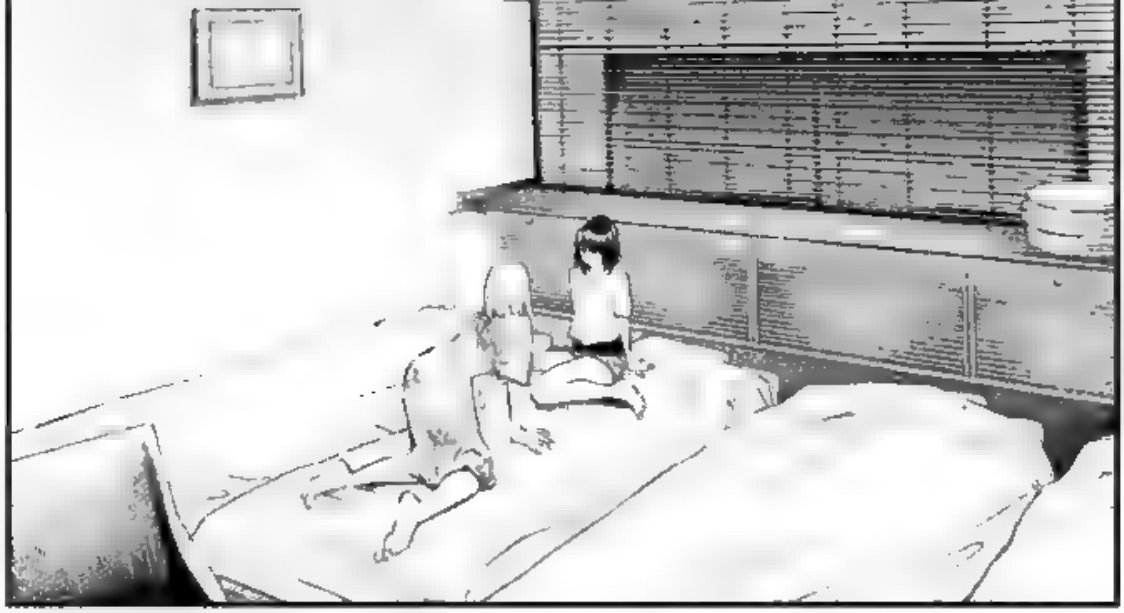
こんないい人に
借金まで肩代わり
してもらって
アンタ
何様なの!?
そっ…
それは感謝
してるわよ！
でも…
誠実では
ない！
女ったらし
だし
働かないし！
働くわ！

ずっと働いてたの！
だからアンタを
救えたんじゃない
ウソ！
ちっとも
働かないじゃん

それに
女ったらし
じゃない：
浮気もしない
幸せにするって
言った以上
約束は守るわ
そーゆう
人なの

……
は…？
なんでそう
言い切れん
のよ

嫁だもん
旦那を
信じないで
どーすんのよ



だからぁ～～～～～
それが出来ないん
だってのぉ～～～～
だ――
慣れよ

だからぁ～～～～～
ど～～～～やって
慣れんだよぉぉ
だからぁ――
まどかに聞けってのぉ！
聞けないだろぉぉ
当事者だしぃん
ゆずならどーやって慣れる!?
ねぇ～
ねぇ～～～
あたしそもそも嫉妬とかしないしぃ
おいっ

うわっ
びく
あら

ここにいたの…
龍之介さんが捜しに行ったわよ

えー？
龍ちゃんケータイ持ってないしなぁ～
まどかと龍が同棲してた…
きっとすぐ戻って来るわ

まどかは……

麗のこと
ずっとずっと想ってるんだ…
なのに
どうして今の生活が
耐えられるんだろう
ほっ

あ――――…
あたし
捜してくるよ！
元はと言えば
あたしのせいだし
バタン…

そーね
いってら～
…なにを
したの？
…
3日は
立ち直れないと
思ったけど
それが
何もしてない
のよね～…

そういえは前に
まどかも
同じようなこと
言ってた

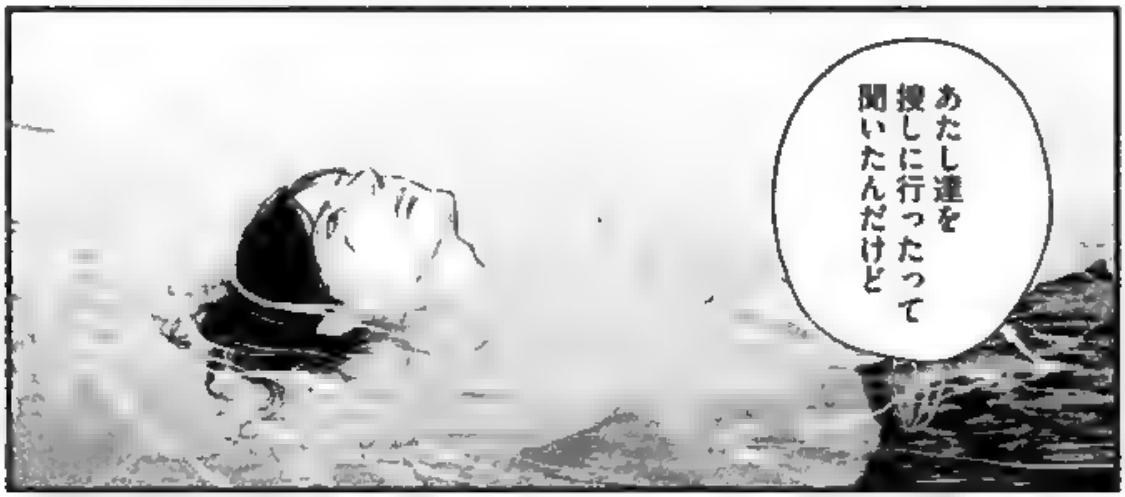
2人とも龍のことを
信じきってる……
それも半端ない
ほど強く

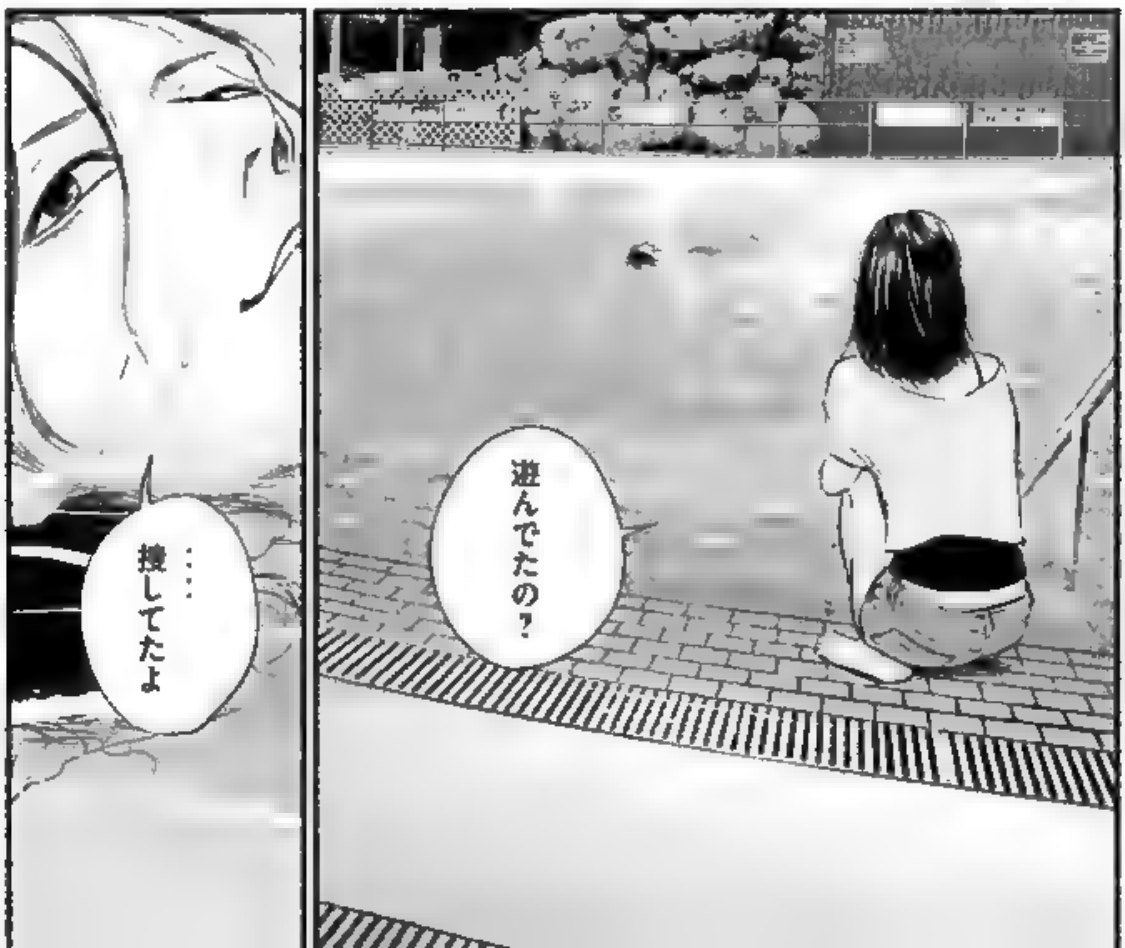
どうして？

あたしだけがまだ知らない
何かが
アイツにあるの…？

知りたい

それで
アンタのこと
信じられるなら・・・


あたし達を
捜しに行ったって
聞いたんだけど


遊んでたの？
……
捜してたよ

水中にいるかと
思ってさ…
ギャー!!
人魚
だけに

茨城のジュゴンなら
ここにいるけど

53

ちょっとずつの男と女

とっちゃったの？
ゴム

……

これのせいで
無駄に舞い上がって
無駄に落ち込んじゃったのよ……

やっぱドライに
考えなきゃ
続かないよね…
ハレ婚
するなら

…また
迷惑かけて
ゴメン
なさい
迷惑じゃ
ないよ

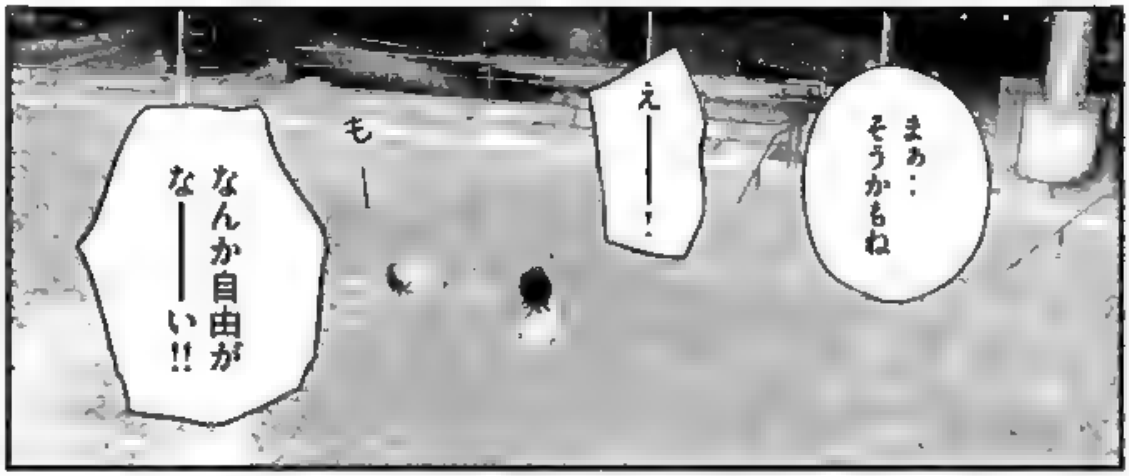
たまには
ウェットに
なったってさー
いいじゃ
ない
我慢ばかりが
結婚じゃないよ
……

じゃー
どうしろってのー!!
泳ごうよ

キモチ
いーよ
いや
脱だし
脱げば
いーじゃん
脱がない
から

うわ――
小学校のとき着衣水泳とかやったなー
この子タオル持ってないよな！
わーい
なんにも考えてないんだなぁ…
エロいからいいけど
あっ
気付いたか

…これも抜け駆けかな


まぁ…そうかもね
え――!?
も――
なんか自由がな――い!!

今は自由じゃん
そ…だけどぉ～～…

ひょいっ
じゃあもっと
楽しめばいいっか！
！

……

照れてる
照れてる
気のせい
えー？

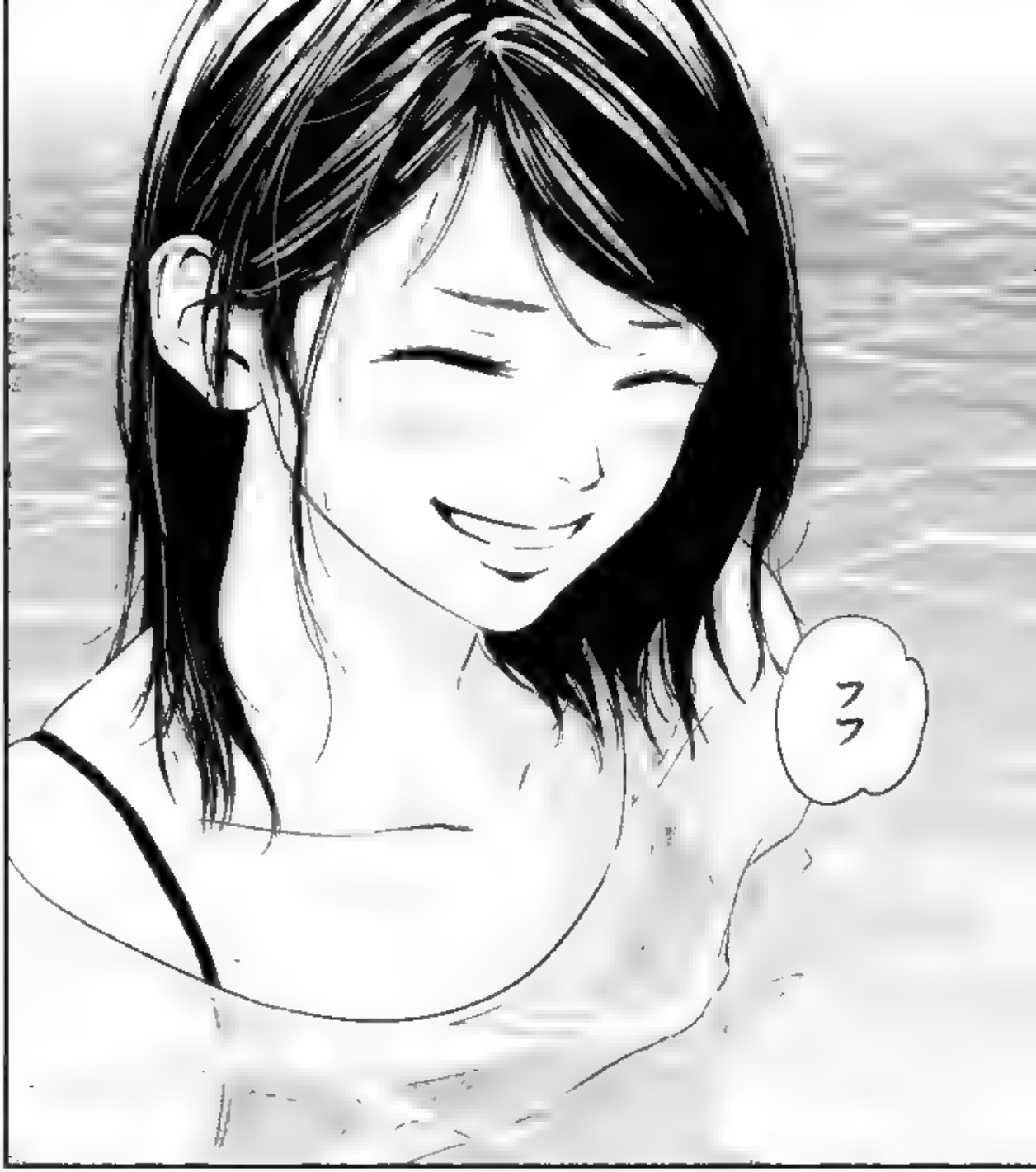
どーせ
怒られんなら
さ～～～～～

好き
うふふふ
やっぱ照れてんじゃ――ん
……

だ〜〜〜〜い
ス……
ガッ
きゃっ

やめ
コラ
あ——
スキマから指
入れちゃおう
かな——
おろして

ぷはっ
すぐ調子
乗るん
だから……！
そっち
でしょ
ズウ
ゴゴ


フフ

あ――あ
もっと早く
こうしてれば
良かったなー

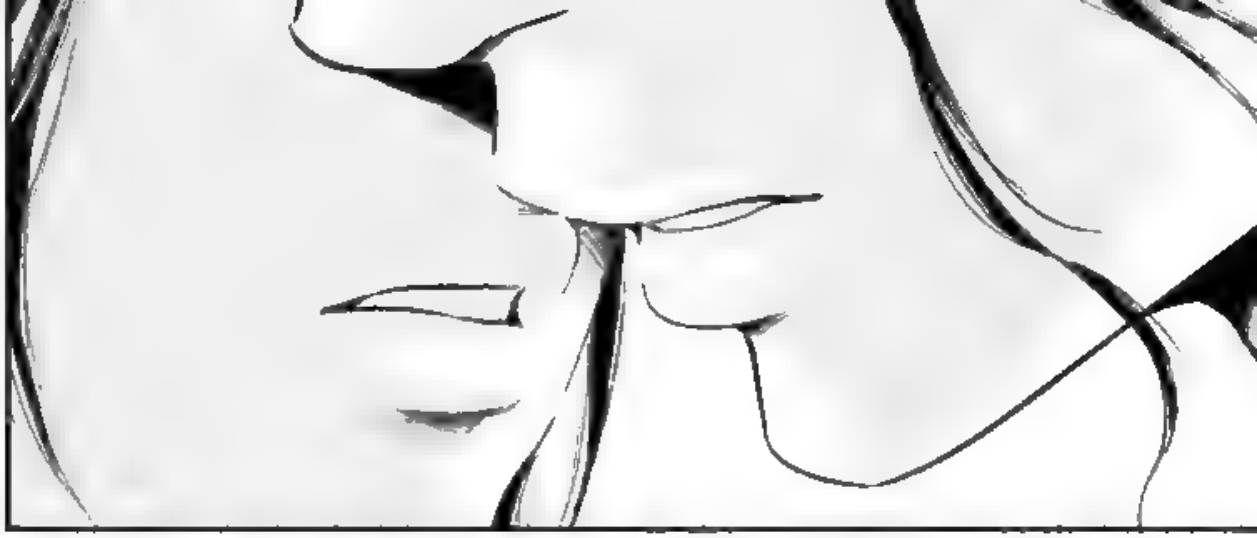
つい
意地張っちゃう
のよね――

色々
あるよね
…誰にも

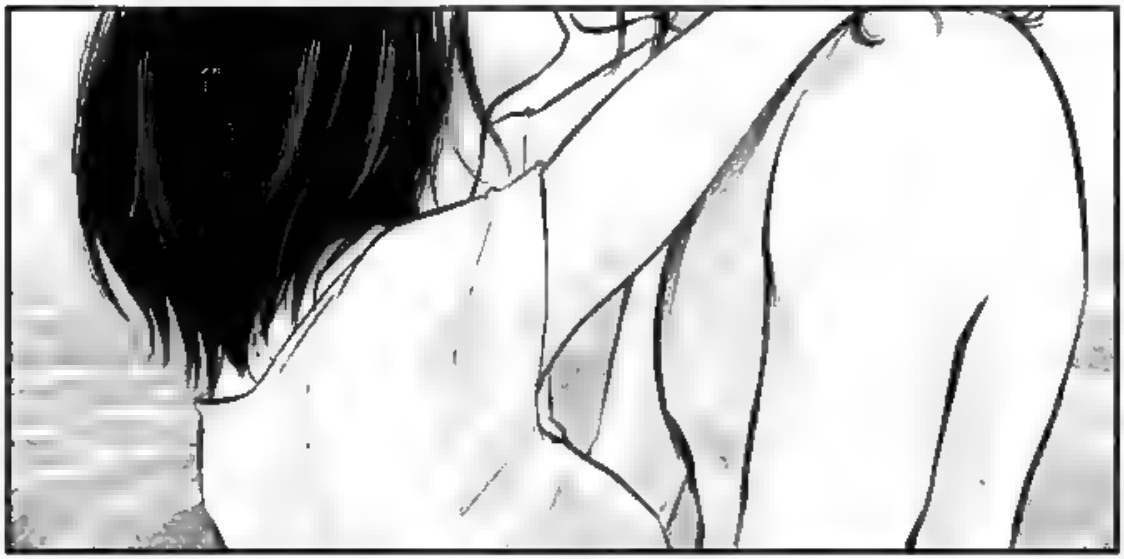
ゆずにも
ちょっとずつ
知ってこうと
思うよ
今はそれで
いいや
まどかにも

飛び込まない

トイレ



へっ



…なんか
恥ずかしい

そうだねぇ…
ここに来てから
小春ちゃんは
随分と
乙女ちっくに
なったよね
いーんだよ
ソコは
触んなくて
ぐぐぐ…
早く戻…
離せ!!

54

マハロな女

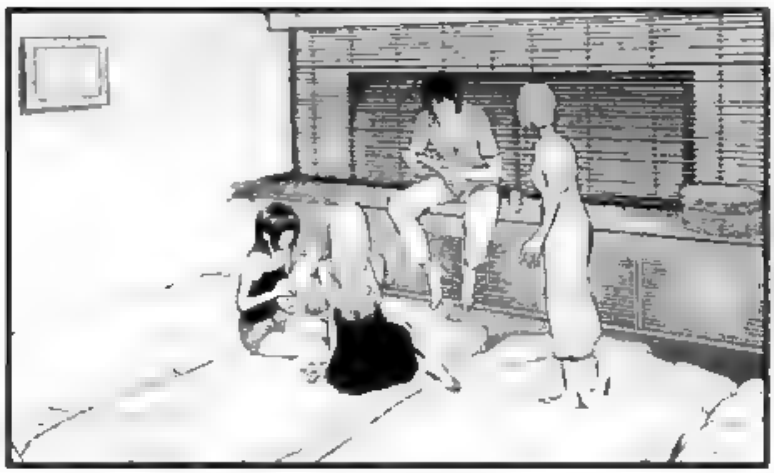
あら
ヤダ〜〜〜
びしょびしょじゃな〜い
何してたわけ〜？
ねぇ
透けてんだけど!?
見えてんですけど
パンツ
やらし〜〜〜♡
どっちがだよ…
ちじょわ
ビール追加
あ〜〜〜〜んわかってるぅ〜〜〜〜♡

まどかちゃん
おビール
来たわよぉ～～～
…そこに
置いといて
アンタもう
やめときなって

誰のせいで
飲んでると
思ってるのよ…
うん……
え!?
は
ね――
ポーカー
やろうよ
そこで
脱ぐな!!

「こきぶり
ポーカー」
知ってる?
知らないし
何か寒いて
それに
お風呂行くから
え…

アンタ
小春
小春ちゃん
がいないと
つまんない
ハメる気
だな…



じゃ――
一回だけね…
勝ったら
お風呂行って
いいよ
なんで
だよ

ごっちゃ。
うわぁ…

合宿だってもーちょっと秩序あるわ…
うーん

そーいえば
同じ部屋で
寝るの

初めて
だっけ…

二日酔い
へくしっ
寒冷え
低血圧……

情けない!!
いただきます!!
…よく朝からそんなに食えるわね…
だってビュッフェなのに!!
食べなきゃソンじゃん
ちょっと…
ボリューム下げて…

はい
しじみ汁
あったよ…
ありがと…
……
なに？
ジロッ
それくらい
言うわよ…
サッ
いえ…
……

やっと
家族ってカンジに
なってきたねぇ

あ……
長女に
次女
末っ子って
カンジ？
美人3姉妹
だね——
龍之介さんは
お父さん
ですか？
みんなの
弟って
カンジじゃ
ない？
そこは普通に
ダンナでいいん
だけどな！：

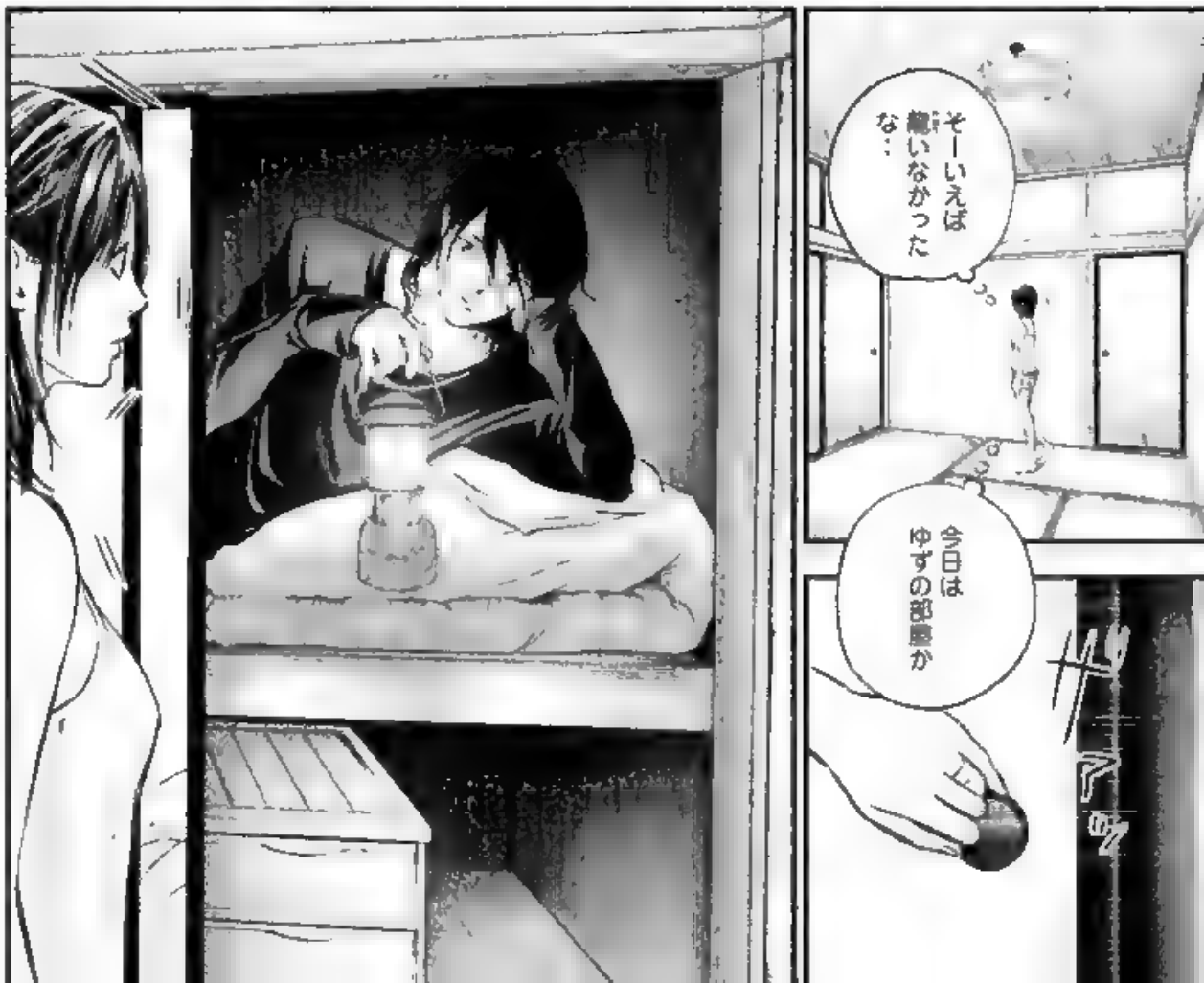
もしかして龍(りゅう)は
ごーゆうのが
理想なのかな

家族か……

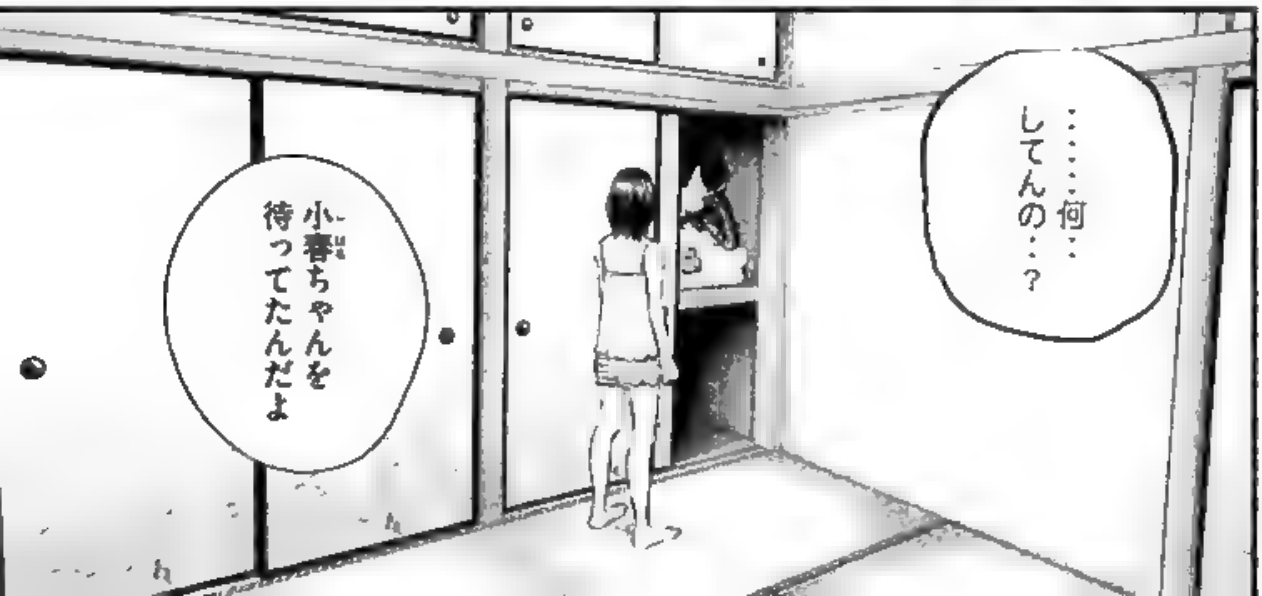
うん
だったら良いな……

悪くない

おやすみ
おやふみ


そーいえば
聡いなかったな…
今日は
ゆずの部屋が

…やぁ


……何…
してんの…？
小春ちゃんを
待ってたんだよ

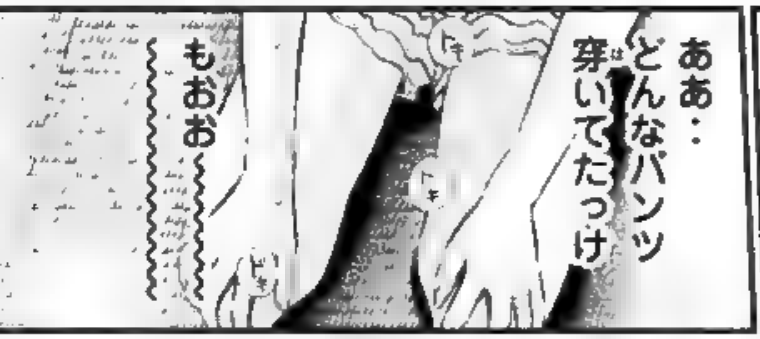
さあ
ハワイの先へ
行こうか

そっ…

婚

ハワイの
先っこ…？
仙台
とか？
根に
持っとるぬ：

ウソ・・今日
あたしの番・・・・!?
旅行中はカウント
されないって
こと・・!?


ああ・
どんなパンツ
穿いてたっけ
もおお

そうならそうと言ってよ!!
……
なに 人の押し入れで
くつろいでんだよ
意味わかんない
ドキ
ドキ
サイアク・・
スー
はっ

閉めないでよぉ――……
僕 暗くて狭いとこダメなのに
小春ちゃんを喜ばそうと思って30分も待ってたんだよ
知らんわ…
それとも

この期に及んでまだ「心の準備が…」とか
言うのかなぁ～～～～～？

55
押し入れ男

自分でも
治ったらいいなって
思うもん……
セックス
恐怖症…

ポイ
それじゃ——
ダメなんだよ
ス…
ッ
ビクッ
ドサッ

絶対泊す
ってキミが思ってくれなきゃ……
ね…
なんなのその灯りは
セックスが嫌いかい？

嫌い
どーして？
……
……痛いし
ユワイし
……
身体触られるの
気持ち悪い

自分から抱きつくのはOKなの？
それは・・っ
べっ
べつにいーでしょ!!?

もも文句(もんく)あるっ!!?
ないよ
正確なデータが欲しいんだ

…キスとかハグとか
それだけでいいの

セックスなんかしなくても充分(じゅうぶん)楽しいのに…
僕もだよ
……
ホント?
うん

僕のこと
ヤリチンだとでも
思ってるの？
だいぶ そう
思ってるよ？

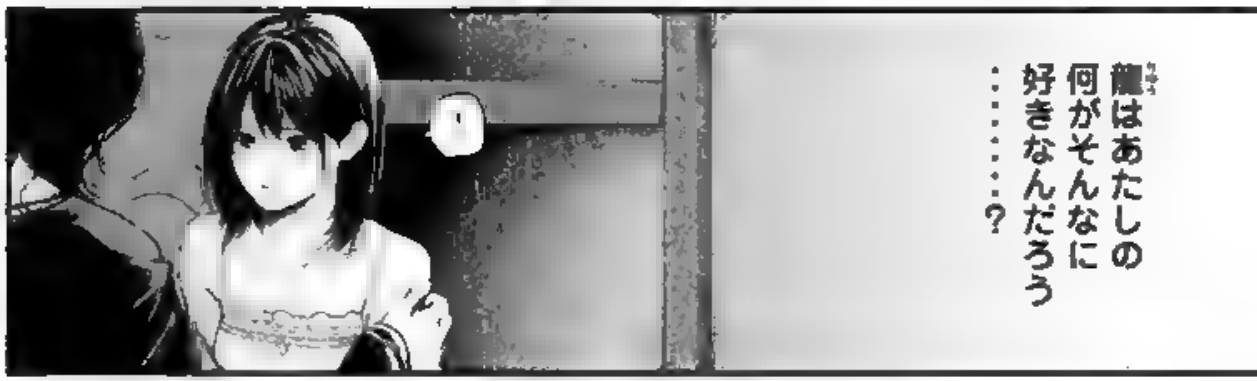
…小春ちゃん
はさぁ
男ってものを
誤解してるよ
みんながみんな
コーセーみたいじゃ
ないんだよ
具体例を
出さないで
ず…ん…

まっ…

僕もヤるけどね…
パチッ
ヤるんかい…
そりゃヤるでしょ当然
あっそう…
いやなんでだよ…

キミに惚れてるから
！

そう…
言われたら
悪い気は
しないけど…


龍はあたしの
何がそんなに
好きなんだろう
……？

ボフッ

…
そう
言われると
悪い気は
しないでしょ
！
だから
騙されるん
だよ

はぁ!?
じゃあ疑えっての!?
イタイ目に遭いたくなければね
嫌な想いしてきたから「セックスがコワイ」とか言い出すんだよ
……

じゃあアンタは信用できるの?
僕?
さぁ…どう思う?

…ウソはつかない
成長したねぇ

なに
傷そうに…

ちょっ……
待つ…!!
あんまり
大きな声出すと
聞こえちゃうよ
僕はハハケト
いきなり
そん…
じゃ
栃雷って
もんがある
でしょお!?
お——
やってるねぇ

ないよ

そんなものに
捕らわれてるから
セックス嫌いに
なるんじゃないの？
……

やめて
ホントに…っ

本当に嫌ならすぐにやめるよ
！
…あのランタン
……

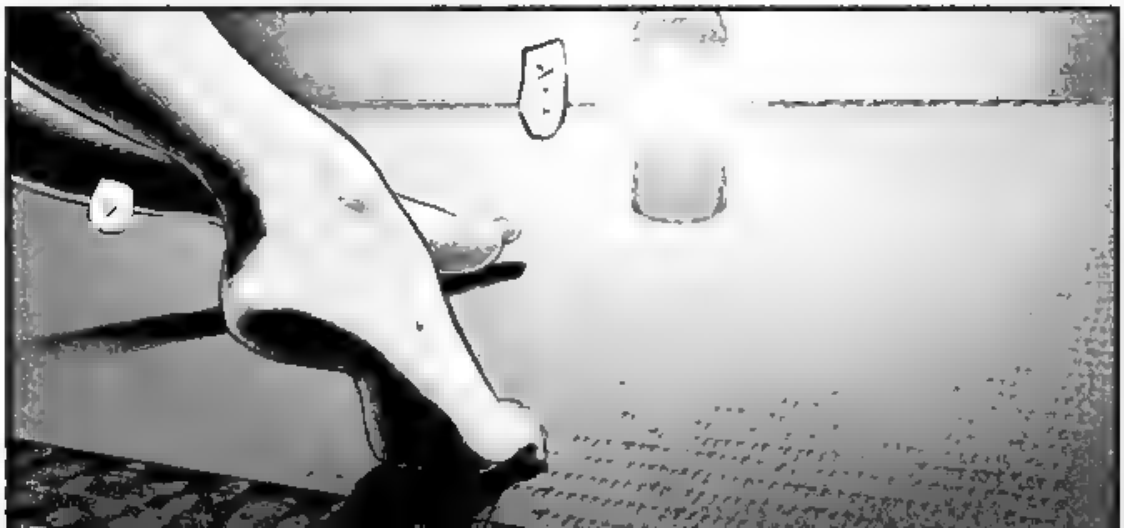
あと1時間で
消えるんだ

僕を
信じられるなら
その間だけ
身を任せて
くれない？

小春ちゃんを
治せるかどうか
試したい

わかった…

55
end



ン……ッ
ん
ん

はあっ
はっ
ん

はあ
は
はあ
ん…ん

56

伊達龍之介という男

ミ――ン
ミンミンミン
ミ――ン

小春――っ
びゅっ
あ――
また地べたで寝てる――
危ないよ小春――!
ん
あれ…？ 服は？
リュウ？

シー!!
!

んっ…
!?

んっ

はあっ
はっ
ちゅぱっ
はあ…
うっ

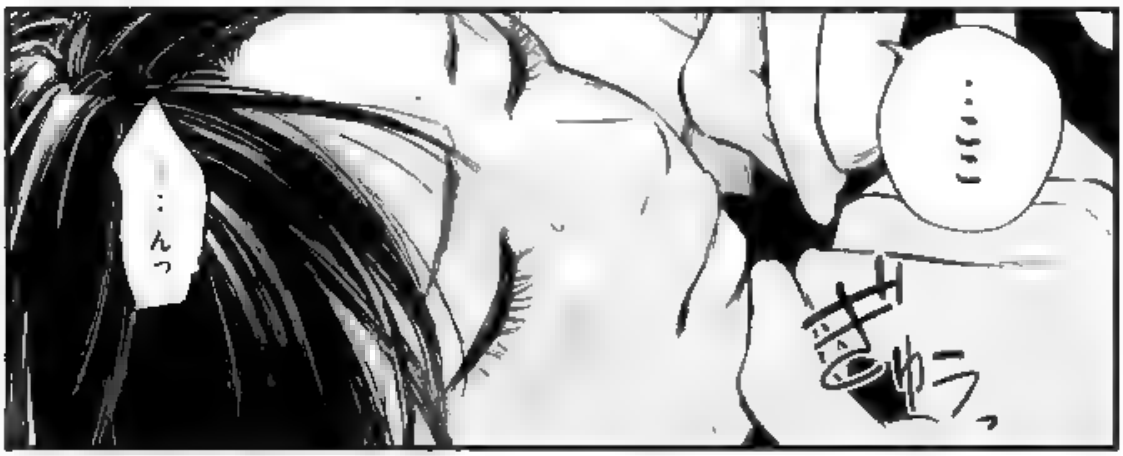
ん
ぐちゅっ

はあ
ちゅぷっ
ん
ぐちゅっ
ぐちゅっ…

ゴホッ
はぁ
はあ
はあ・・

小春ちゃん……
……

……ッ
気持ち
いいでしょ
はぁ
は…


……ここ
…んっ
ぬるっ

は…
はぁ
へ

ス…ッ
！
わぁ…

なによ…
文句ある？

ないよ
ぶるっ

べつに
不感症って
わけじゃないん
だよね
こうして
3日に1度
肌を重ねて
いれば……
スス

もっと素直になれるよ
ツ…ッ
は…っ

……
……ま
毎回…やるの…？

試めていい？
…

そうさ
ドクン

…なに今更
好きにすれば…

はーい

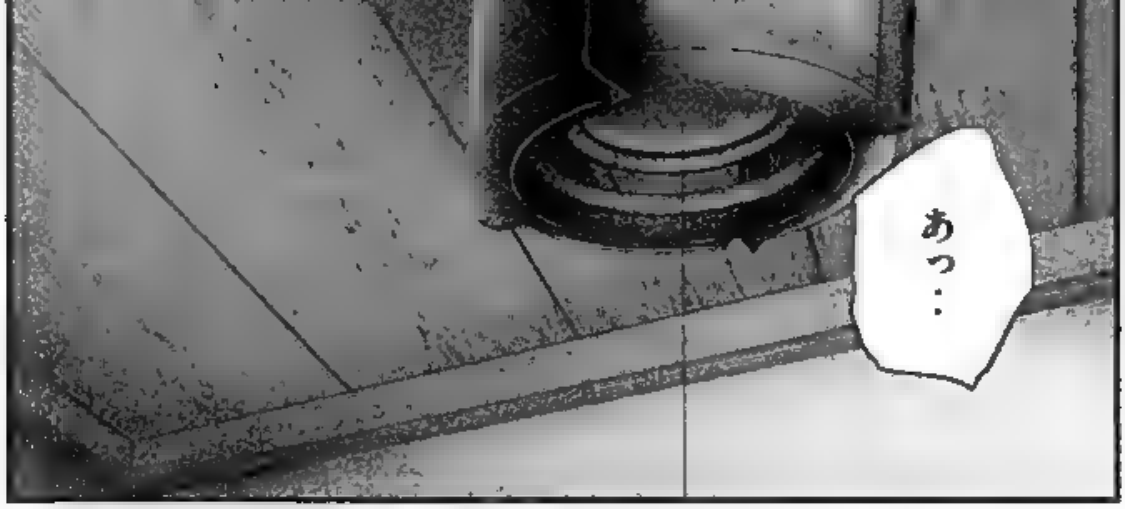
そっちは

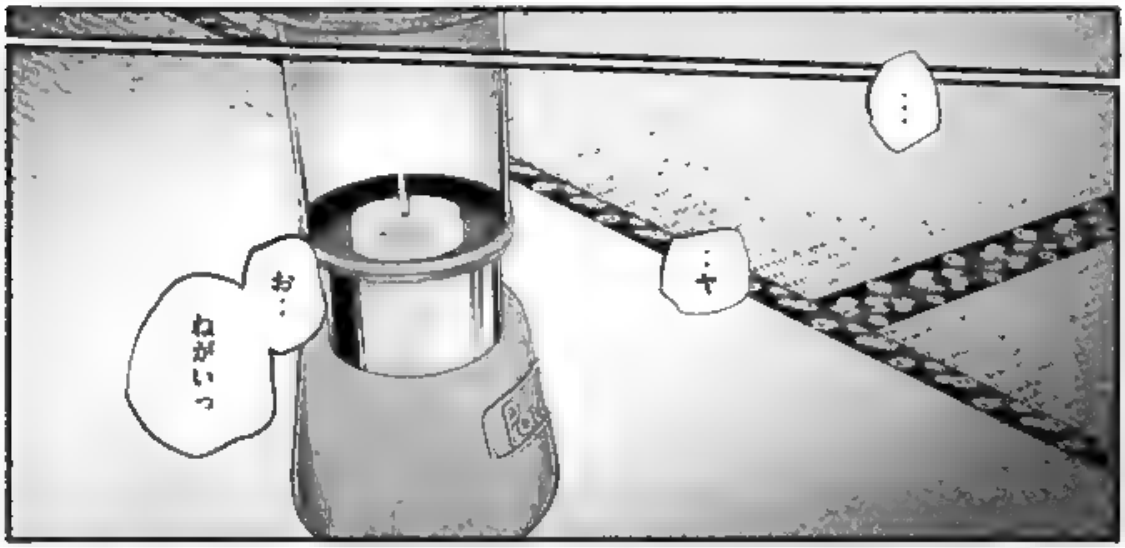
ダ……

く…っ

ボフッ
…そお〜〜〜〜〜…
ヘンタイ…
バカあ〜〜〜…！

あっ
びくっ
……も
やだぁ……っ
はあっ


あっ…


…
…ヤ
お…
ねがいっ

やめる…？
ひ…
こんなに
なってるのに？
やめちゃって
いいの？

も…
ヤメて
おねがい
…

は…
ア…
ア…っ

は
いいよ
じゃあ今日は
ここまで
は…
！
……

い…
いいの…？
べつに
いつでも
できる

12年間…
やろうと思えば
いつでも殺れたけど
…しなかった
我慢してるんだ

キミにも
同じ苦しみを
味わってもらう

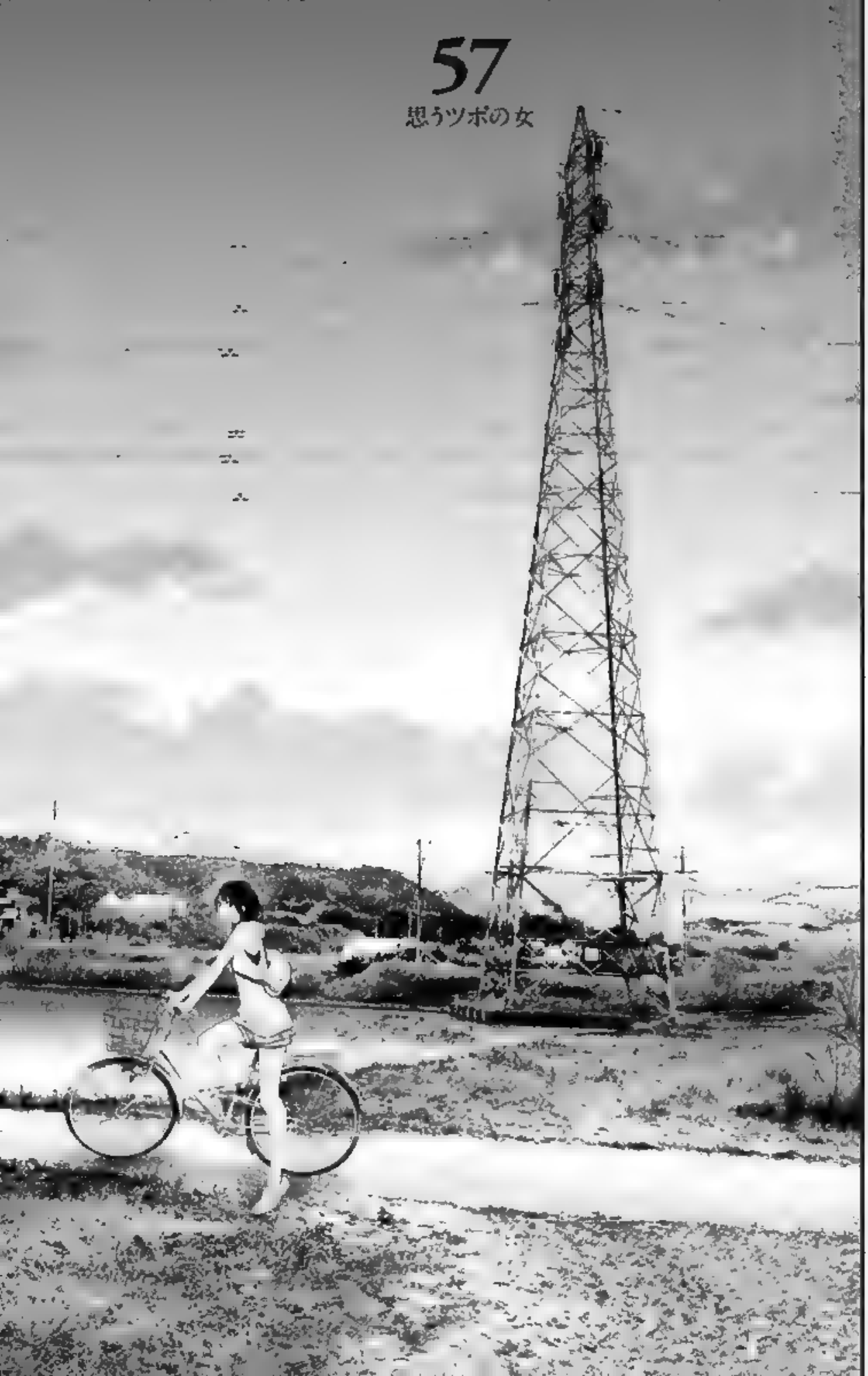
小春ちゃんが
僕のことを
ずりっ
欲しくて欲しくて
たまらなくなった
その時は

ぶちこんで
あげるからね

なんだ
この男は
…!?

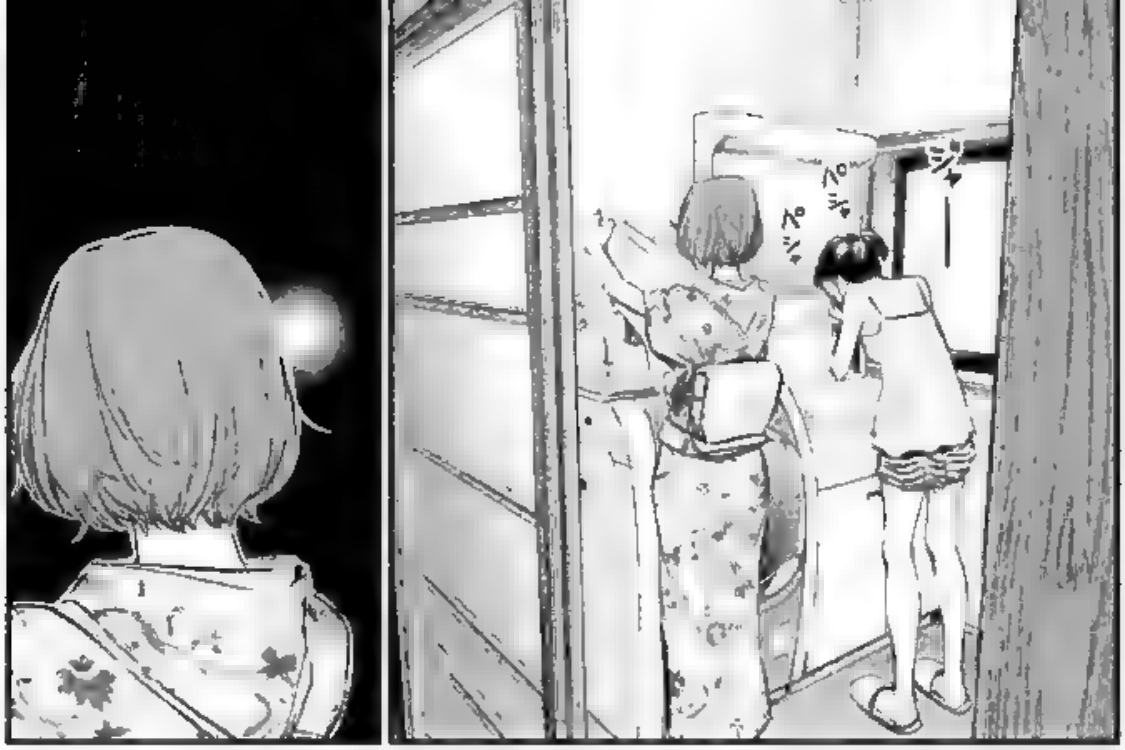
57

思うツボの女

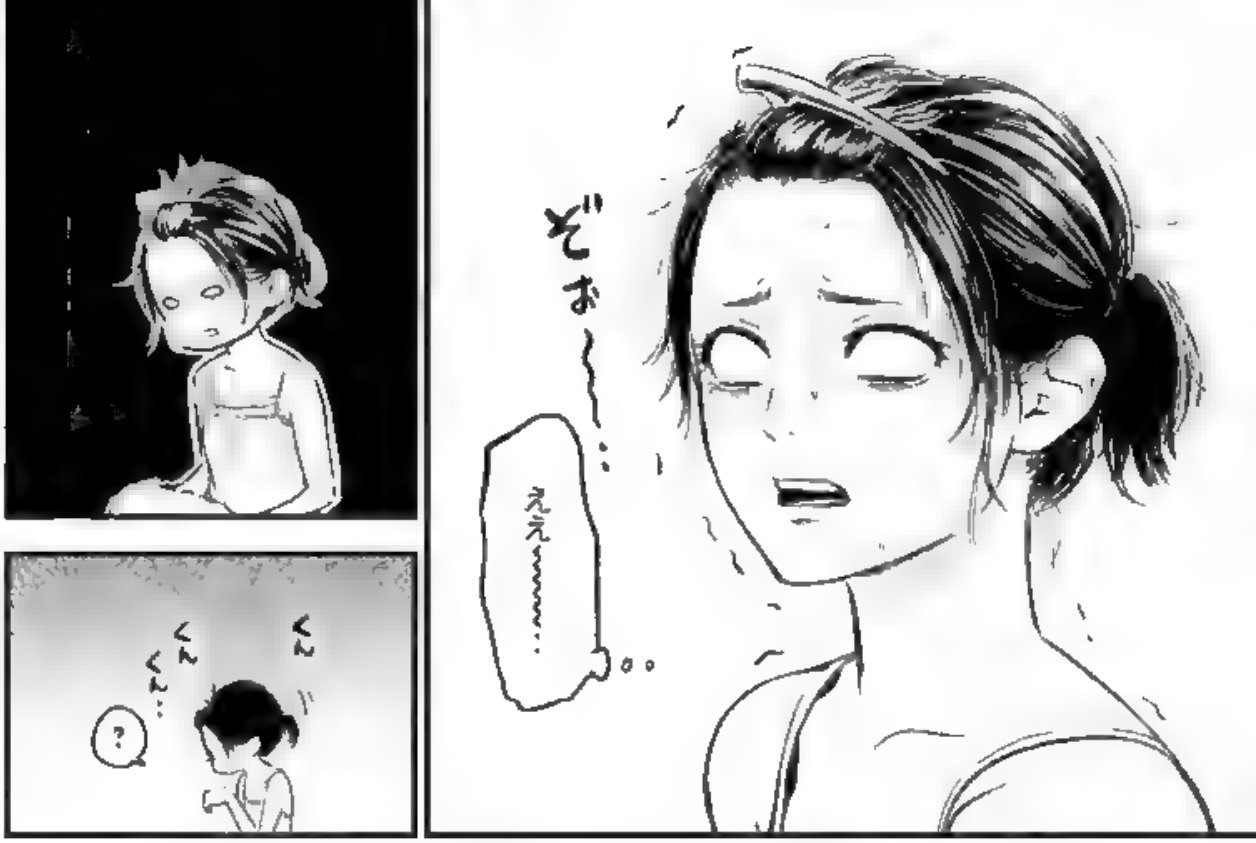


結局ほとんど眠れなかった…
！
あ…おはよ

…おはよう


ジャー
ペシャ
ペシャ

龍之介さんの
におい……
！


ぞぉ～～…
ええ～～～～…
くん
くん
くん…
？

ほかぁ
うわっ!!
お赤飯!!
昨晩から
仕込んどいたの
よぉ～～～～
絶品よ♡

…なにか…
…めでたいことでも……？
やぁね～トボけちゃって♡
それで…？
よかったっ
初めての龍ちゃんはどうだった？
やっぱりか…

…なに
つまり

あたしが
その気になるまで
しないって
こと……？

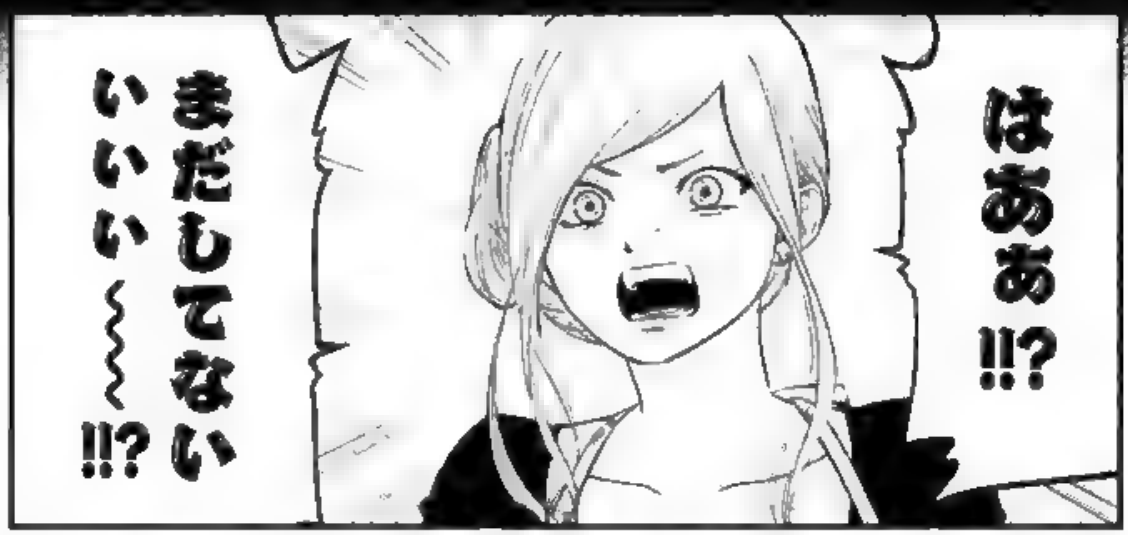
キミを
その気に
させてみせる

…って
こと
…

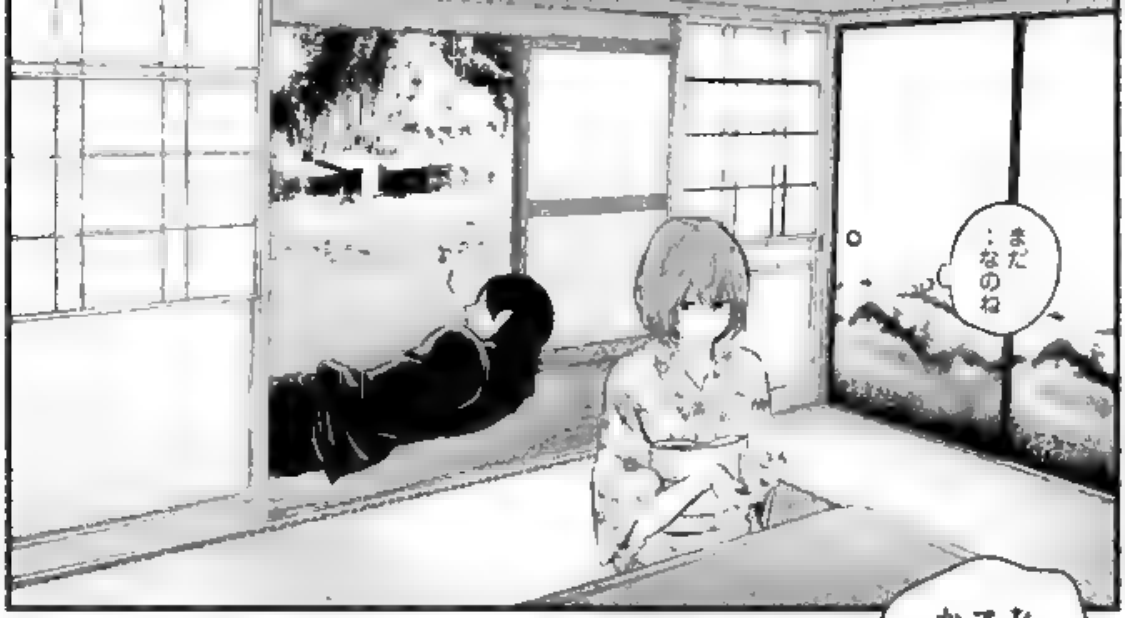
あっそ！
勝手にすれば？
無理しちゃってバッカみたい！

すりっ
てゆーか好都合！
しないで済むならその方がいいもん

じゃっおやすみ
……
おやすみ…


はああ!!?
まだもてない
いいい～～～!!?

なに考えてんだっぺおめ!!
赤飯まで用意したっつーに
あたしのせいじゃねーし
頼んでねーし
あと声がデカイ!!


まだ…なのね

なんだかんだ言ってアイツはあたしをからかってんのよ
人がせっかくその…応えよーと頑張ってんのにさ……
って何でこんなこと報告してんだあたし…
（ゼロ距離はヤダし）
…フーン

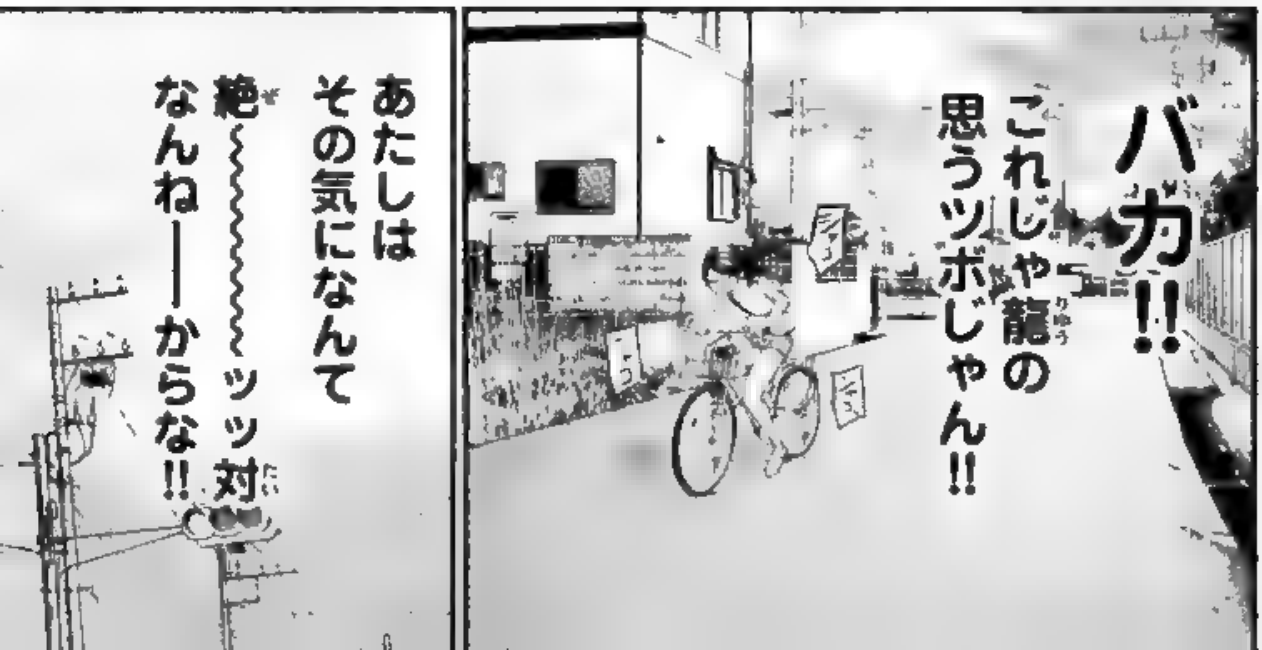
それは龍ちゃんの優しさね――
！

やさしさぁ
〜〜〜〜〜!?
はぁ〜〜〜!?
アンタがちゃんと
楽しめるように
なってから
するつもり
なんでしょ！

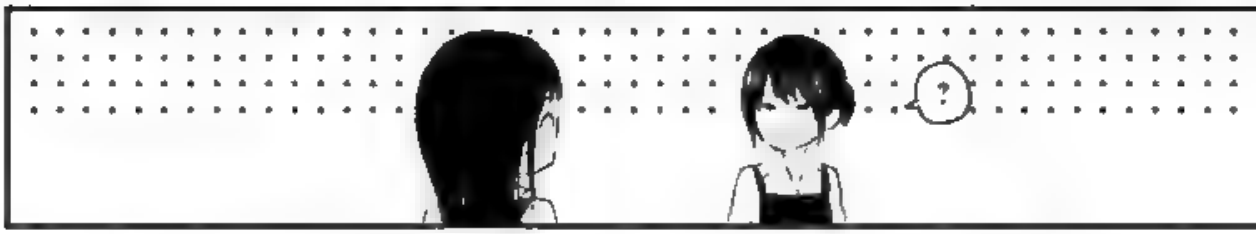
あ〜〜〜〜〜
あたしも何か
特別なコト
したいわ・♡
はふん
あんなコトとか
こんなコトとかぁ
〜〜〜〜〜
ウフフ
……

ゆずもまどかも
3日に1度
愛とエッチしてるん
だよなぁ……
なんで
あたしだけ
……

なっ……
なに考えてんの
あたし!!
ドキ
ドキ
ドキ


バカ!!
これじゃや龍の
思うツボじゃん!!
あたしは
その気になんて
絶〜〜〜〜〜ッッ対
なんね——からな!!

先輩！
おかえりなさい！
ルパン
ルパン


？

ハワイに行ってたんですよね!?
直子さんから聞きました！
え…
あ、ああ…ハワイ…ね
みなさんでハネムーンなんてすごく楽しそうです！

……ん
まあ…楽しかったかな
色々あったケド
！

良かったですね…！

うららちゃんはどっか行かないの——夏休み！
ガチャ…
友だちみんな受験勉強で…
あ——それは自重するよねー——

あっ
お土産(みやげ)
あるんだ！
(関東にも
ハワイ直送の)
チョコレート！
うおっ
びくっ
おっ…
母さん
……
……

小春(こはる)

ちょっと
来なさい

…なに？
ねえ
…？

お父さん!?
よう

久しぶりだな
バカ娘
……
な…
なんで!?
退院
したの!?
あー…

お気にのナースも辞めちまったしな……
はあ!?
…てゆーか…

聞いたぞおまえ
家出したらしいじゃねーか！
え…
あぁ…いや

なあ

もう別れろ

こんにちは
NONです

ハーレム
ハネムーンは
楽しんで頂け
ましたでしょうか

作画にあたり実際に
福島県スパリゾート
ハワイアンズさんを
取材させて頂きました

世にも奇妙な 夏田

なんと創立50年!!
NONにとっては
実に10年ぶりの再来と
なりました

と福島TEAM'NSさん

キャラの
つもりで普通に
遊んでみたり…

キャピーン

わざわざ部屋に
布団を4枚
敷いてもらったり…

息子プールデビュー
したり…

連続で足がつったり…

撮影枚数 なんと
2千枚超!!

スタッフのみんなも
作画がんばってくれました

ハワイアンズさん
快くご協力していただき
ありがとうございました!!

また
行きたいな

ハワイにも

あー楽しかった♡

別宅ハレ婚

神田家03

作：手塚だい

なんて美しい朝だろう。

空の蒼。流れる雲。少し冷たくなった薫風。出勤前のいつもの景色が異なって見える。或いは俺が変わったのか。神田保は朝の空気を吸い込んだ。

「サンキューコンビニエンス」

ゆうべ駆け込んだＡＴＭに向かって礼を言う。朝から爆音で単車を走行させる若者さえ愛おしく思う。保は真奈の言葉を思い出して呟いた。

「たしかに」

彼女は言った。「格安よ」と。京子との初夜以来の性行為に、傷心も手伝って身も心も固くなっていた保。真奈はそんな保を悦び、受け入れ、優しく包み込んだ。保は無重力に身を任せるように真奈の中を漂った。「女がマグロなら男は何の魚だろう」。何故かそんなことばかり頭を過った。向かいの部屋に居る妻の存在も気にしたが、真奈の声が大きくなるにつれて保は我を忘れ始めた。女性を悦ばす幸せを、彼は生まれて初めて経験する。第二夫人は夫を敬い、全身で快楽を表現した。真奈は男の心身を立たせるプロだった。自分が嫌であることを認識した保は、ついに覚醒したのだ。

保が目覚めると隣に真奈の姿はなかった。ゆうべ交わった男女の匂いは消え、代わりに居間から味噌の香りが漂って来た。結婚生活半年間で、保が起きた朝に朝食が並んでいるのは初めてだった。

「おはよ。早く食べないと遅刻するよ」

真奈の声に保は危うく泣きそうになった。

「これが……結婚」

朝食を食べ、準備をして玄関を出るまで、真奈はずっと笑っていた。その間、京子の姿はなく、保は所在を聞くことも部屋を覗くことも躊躇った。確認するのがなんとなく怖かったのだ。

職場に着いた保は、まず関根君の姿を探した。彼に新しい保をチェックしてもらう必要がある。しかし、残念ながら関根君は本日お休みだった。

保がそんな朝を迎える一時間前、彼らの住むアパートの前に一台の単車が停まった。京子はヘルメットを受け取り、後部シートにまたがった。神田家が住む町にも海はある。漁港も浜辺もある。「何故わざわざ？」その質問に京子は答えた。

「太平洋に抱きたいの。日本海が見たくてね」

彼には違いがわからず、話の続きを待った。

「日本海はいいよ。吸い込まれそうになる」

それは、日の出と日の入りの違いから感じるものなのか。そう尋ねると京子は笑った。

「なるほど。関根君らしいね。そうじゃなくて」

海を見つめながら京子が言った。

「色が違うのよ。日本海は濃いの」

やはり関根君にはよくわからなかったが、京子のそういう感性になんとなく好感を持っていた。

「それにしても、高校生のくせに良い単車持ってんじゃん。スネ齧り」

「まさか。自分の金ですよ。中古だし」

京子からしてみれば、自分はまだ子供なのだろう。関根君はそう思われるのが少し悔しかった。

「日本海が見たい」

京子からの突然のメールに関根君は「翌朝迎えに行きます」と返信した。そして今、二人はこうして缶珈琲片手に浜辺で海を眺めている。神田さんから受けた相談と日本海に関係はあるのだろうか。関根君が思案していると、京子の方から話題に触れた。

「保から聞いてる？　もう一人嫁をもらうって」

「京子さんの方から持ちかけたって聞きました」

関根君の答えに京子は頷いた。それから二人は暫く黙っていた。「吸い込まれそうになる」関根君にもその意味がなんとなくわかった気がした。

「理由を聞いてもいいですか？」

この日、保は有頂天だった。身体にはまだ真奈の香りが染み付いている。パートのおばちゃんにも褒められ、社長にも会うことなく仕事を終えた。完璧な一日だ。財布にお金も入っている。そして今夜、保はさらに一歩踏み出そうとしていた。それが野望なのか無謀なのか。或いは賭けなのか。

九時過ぎ。保が帰宅すると二人の嫁が食卓で待っている。そこには見るからに凝った料理が、美味しそうな匂いを漂わせていた。

「すごい。これ、手作り？」
「そ。あたしの歓迎会。あ、でも豪勢なのは今夜だけね。今日から家事も家計もあたしに任せて」
真奈が胸を叩いて言うと、京子が口を挟んだ。
「でも、あんたお金ないでしょ。食費や生活費は保からちゃんと貰いな」
「大丈夫。昨日からちゃんと貰ってるよ。ね？」
真奈はそう言って保に悪戯っぽい笑顔を向けた。生活費って、昨夜の五千円？　たしかにそう言っていた気もする。保はてっきり、カツアゲ紛いのお小遣いかと思っていた。あの五千円が今夜の料理に変わるなんて思いもしなかった。
「真奈様……」
保は股間と胃袋だけでなく、心まで掴まれていた。感覚で作ったという料理はどれも驚嘆する美味さで、アルコールは勢いよく血液を巡った。京子の父親と食べた料理なんて何の味もしなかったのに。すべてはハレ婚と真奈様のお陰か。彼女が神田家に幸福をもたらしたのだ。京子の態度は相変わらずだったが、保は羽化登仙の境地だった。俺は一夫多妻の主。恐れるモノなど何もない。ついに保はその一歩を踏み出した。
「京子」
ふいに名前を呼ばれ、二人は保を見た。
「今夜、一緒に寝るぞ」
ゆうべ、真奈様をして「神の子」と言わしめたこの手。この手で、今度こそ愛する京子を悦ばせたい。それこそが保の野望だった。京子は一瞬驚いた表情を見せたが、冷静に言い放った。
「いや、無理。真奈と寝て」
昨日までの保ならこれで玉砕だろう。やはり今日は一味違う。退かない。泣かない。臆みない。
「なぜだ。なぜ俺と寝てくれないんだ。そりゃ前回は俺、緊張して五秒も我慢できなかったけど。でも今度は上手くやるから。昨日だって……」
保が熱くなる程、京子の目は凍っていく。
「あ……ちゃんと京子にも払うよ……？」
京子は言葉の意味を瞬時に察し、真奈に顔を向けた。真奈は嘯嗟に頷を背けている。京子は諦めたように溜め息をつき、保に向き直った。
「わかった。じゃあ、教えてあげるわ。なんで保と寝ないか。実は私……」
足下でカチッと音がした。勇みよく踏み出した保の足が何かを踏んだ音だ。保は恐ろしくて、足を浮して確認出来ずに立ちすくんでいた。
「実は私、あと一回セックスしたら死んじゃうの。そういう病気なの」
保はまたよくわからなかった。俺は何を踏んだのか。恐る恐る確認してみる。
「あと一回セックスしたら……死んじゃう病……？以前はそんなこと……ていうか、そんなの聞いたことないんですけど。嘘ならもう少しマシな……」
「は!?　なに？　あんたクイズ王!?」
もちろん違う。ひるんだ保は思った。やはり踏んではいけないモノだったのだ。
「あんたの知識がどれ程のモンよ。世の中にはね、あんたの知らないことがサハラ砂漠の砂ほどにあるの。あんたの知識なんて、その中の小さじ一杯分もないわ」
動けないうえに、至近距離でマシンガンを全弾浴びた保は身震いした。「なんて小気味良い罵声なんだ」保は思い出していた。京子が働いていた頃にモメた客とのやりとりを。タチの悪いクレーマーに怒鳴られ続けた俺の前に立ちはだかり、京子は一歩も引かなかった。その啖呵に憧れたのだ。
「……なに？　なんでニヤニヤしてんの」
怪訝な顔をしている京子の言葉で保は我に返った。憧れ直している場合じゃない。彼にもそれくらい判断できる。保はひとつ咳払いして言った。
「いや……取りつく島もないなぁと思って」
まさに今、保の良い面が出た瞬間だった。先日、関根君の指摘が気になった彼は、その後止しい日本語を調べていた。拙い知識を補おうとする探究心と純朴さ。それこそが保の長所である。そして、覚えたての言葉をすぐに使いたくなる無邪気さ。しかし、今は使う機会を誤ったようだ。
「……私は質問に答えたわ」
京子はそう言い残して部屋を出て行った。その横顔が心なしか哀しそうに見えたのは気のせいだろうか。俺はまた何か間違えたのだろうか。
「真奈様……」保は泣きそうな顔で真奈を見た。
彼女は「うーん」と唸ってこう言った。
「よし。じゃあプラス千円でお風呂も一緒に入ってあげるよ」
保は黙って財布を取り出しながら自分に言い聞かせた。違う。俺は地雷なんか踏んでない。
「はい。じゃあこれで。宜しくお願いします」

※収録されている内容は、作品の執筆年代・執筆された状況を考慮し、
コミックス発売当時のまま掲載しています。

ハレ婚。(6)

2015年11月1日発行(01)

著 者　NON
©NON 2015
発行者　清水保雅

発行所　株式会社 講談社
〒112-8001
東京都文京区音羽 2-12-21